

3 ちむぐくるでともに つくる福祉と健康のまち

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	社会福祉団体体育成事業			予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028			科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち			目	目	社会福祉総務費	01
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	社会福祉協議会、民生委員連合会、沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金			住み慣れた地域で健康で安心した生活を送れるよう、社協をはじめ各福祉団体と協働で地域福祉を推進し「ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち」をめざします。			
事業の実施内容	社会福祉協議会、民生委員連合会への補助金交付を行うことにより、福祉活動の協働・推進・支援を行いました。						
	●南風原町社会福祉協議会への助成 96,784千円 (内訳) ①運営補助金 75,999千円 ・職員の人件費、役務費、県社協負担金、通信運搬費、雑費、委託費となっています。						
	②支えあうまちづくり事業補助金 13,506千円 ・主な活動実績として、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を7人配置し、地域とともに積極的な関わりを行うことによって福祉課題を解決しました。相談支援の件数は訪問が561件、来所が74件、電話866件、その他が138件、合計で1,639件の延べ相談件数となりました。						
	③福祉総合相談事業補助金 7,199千円 ・町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談員を配置し適切な助言・援助を行うとともに法律相談、司法書士相談を実施。本年度の主な相談件数は生計に関する事2,764件、職業・生業に関する事749件、住宅に関する事438件となっており、その他と合計して延べ5,490件の相談を受け問題解決に取り組みました。						
事業の成果	④ボランティアセンター運営事業 80千円 ・「福祉教育の推進」では福祉教育実践報告会、教育委員等の福祉教育研修会、実践報告会開催の支援を行いました。「ボランティア養成研修の充実」では、10代のボランティア研修会の開催、各ボランティア養成講座(音訳ボランティア養成講座、手話ボランティア養成講座、ボランティア入門講座)を支援しました。その他「ボランティアセンター基盤整備」ではボランティアセンター運営委員会の開催支援を行いました。						
	●民生委員児童委員連合会補助金 4,726千円 民生委員・児童委員の活動状況は、主な内容別相談として日常的な支援が152件と最も多く、次いで子どもの教育・学校生活に関する事が47件、健康・保健医療が46件、生活費に関する事が40件となっています。分野別相談・支援件数は、高齢者に関する事が233件、子どもに関する事が80件、障害者に関する事が89件、その他117件で合計499件の相談支援件数となっています。毎月1回の定例会の実施や各種研修会へ参加をしました。						
●沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金 75千円							
事業の成果	「地域福祉の推進を図る中核的組織」である社会福祉協議会、地域住民・関係機関・団体及び社会福祉施設等との連携を担う民生委員連合会に補助を行う事により、福祉のまちづくりの協働・推進が図られ町民の福祉向上に貢献できました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	103,161	101,585	2,000				99,585

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

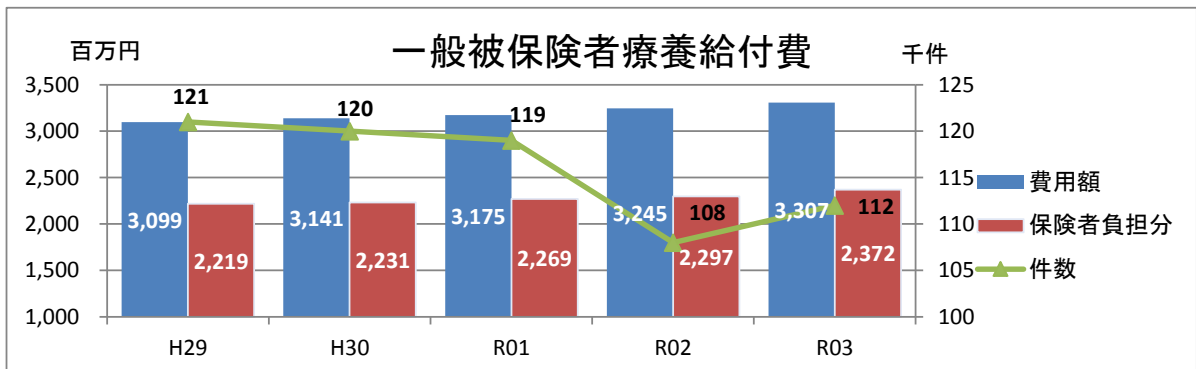
事業名	国民健康保険事業(国民健康保険特別会計)		予	会計	国民健康保険特別会計	02
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	
連絡先	889-1798		科	項		
目 標	ちむぐるでつくる福祉と健康のまち		目	目		

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	国民健康保険の加入者(被保険者)が病気やケガ、出産等により医療費等がかかった場合に保険給付を行います。	病気やケガにかかる医療等に対して保険給付を行うことにより、被保険者の経済的負担や心理的不安が軽減され、健康の増進や生活の安定を図ります。

病気やケガ等により医療機関で治療や投薬を受けると、被保険者はかかった医療費の3割を個人で負担します。(70歳以上は2割又は3割、未就学児は2割を個人負担します。)残りの医療費は町の国保特別会計から支払われます。

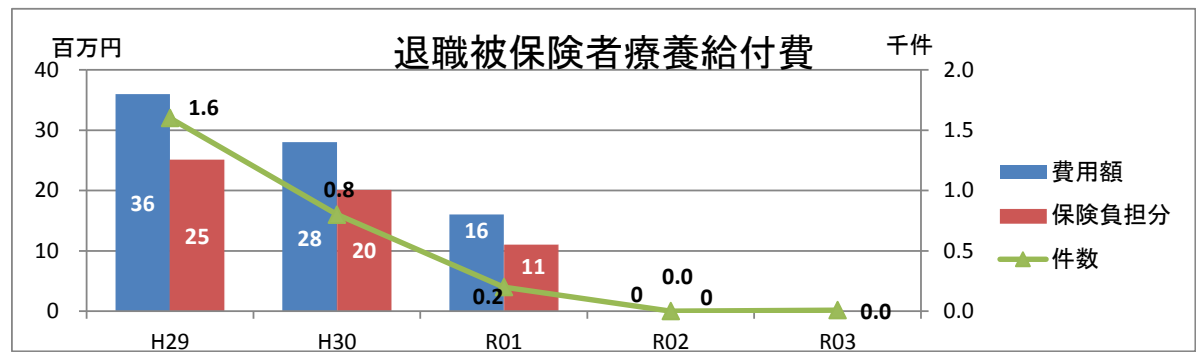
◆ 一般被保険者療養給付費 (2款1項1目) (単位:千円)

件数	費用額	保険者負担分
112,423	3,306,903	2,417,203



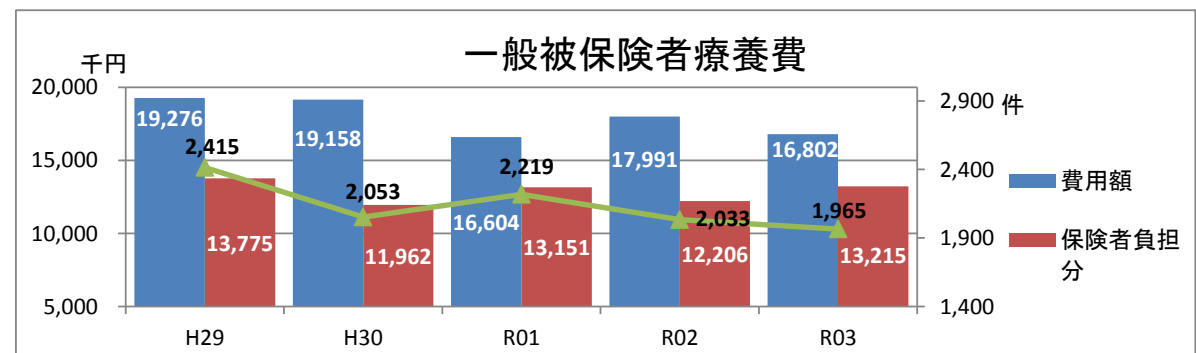
◆ 退職被保険者等療養給付費 (2款1項2目) (単位:千円)

件数	費用額	保険者負担分
0	0	31



◆ 一般被保険者療養費 (2款1項3目) (単位:千円)

件数	費用額	保険者負担分
1,965	18,055	13,215

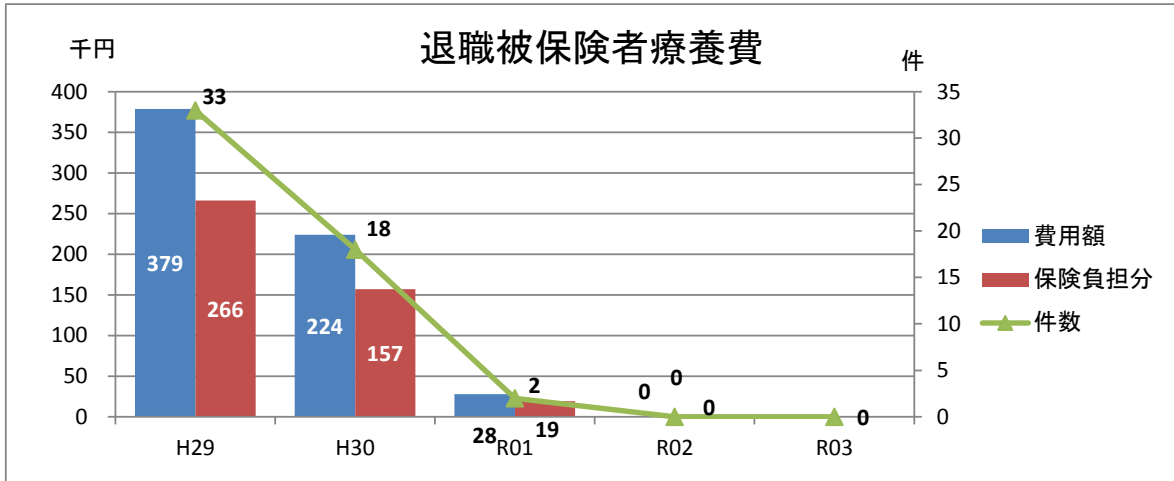


次ページへ続く →

事業の実施内容

◆退職被保険者等療養費（2款1項4目）（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
0	0	0



◆一般被保険者高額療養費（2款2項1目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
5,164	427,004

◆退職被保険者高額療養費（2款2項2目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
0	0

◆一般被保険者高額介護合算療養費（2款2項3目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
0	0

◆出産育児一時金（2款4項1目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
58	22,612

◆葬祭費（2款5項1目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
51	1,020

◆国民健康保険事業費納付金(3款) 1,181,249 千円
 平成30年度に始まった国民健康保険の県単位化に伴い、国・県からの特別調整交付金及び被保険者からの保険税として集めた費用を、南風原町の納付金として負担しました。

◆総務費 総務管理費 一般管理費（1款1項1目） 職員給与費等 62,174 千円

次ページへ続く →

事業内容の概要

◆保険税収納率向上に係る経費 (1款2項2目) 11,077 千円

収納活動の円滑な実現が図られるよう納付指導員を4名採用し、納期内納付を推進するとともに滞納者等を対象に次のことを行いました。

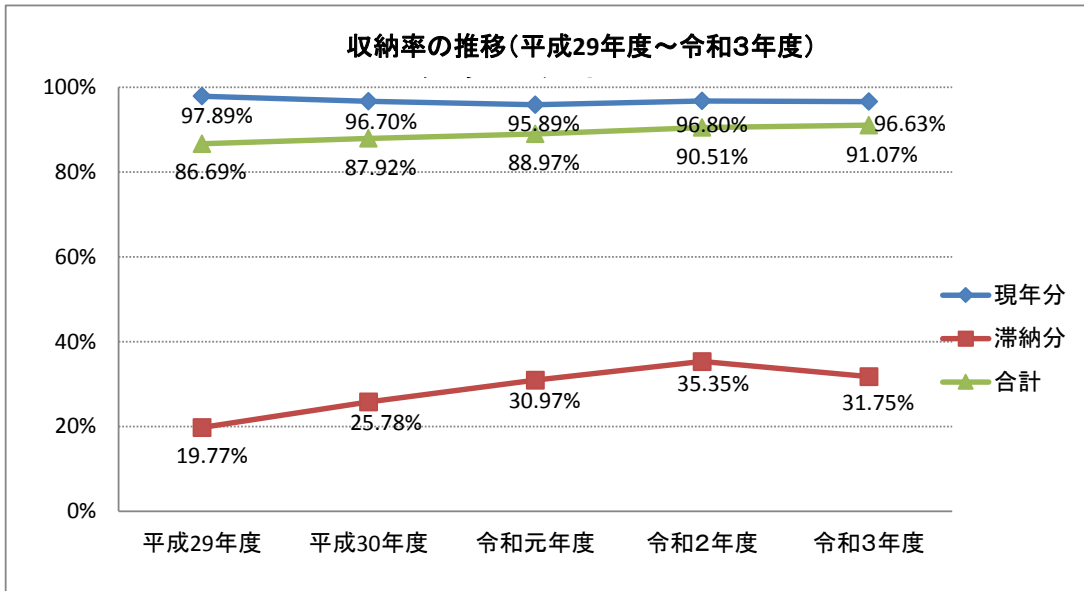
- (1) 夜8時までの夜間窓口を開設(毎週木曜日)し、納税相談等に利用しやすい環境づくりの実施。
- (2) 各地区に担当納付指導員を配置し、個別による納付相談の実施。
- (3) 電話による催促、文書の送付、呼び出し等による納税相談の実施。
- (4) 滞納者の生活状況、資産、収入の調査を行い、滞納処分(債権差押え)による徴収の強化。

☆生活困窮世帯からの相談には、社会福祉協議会相談員等との連携により、計画的に国保税の納付ができる環境作りに努めました。

(収納率の推移)

単位(%)

年度	現年分	滞納分	合計
平成29年度	97.89	19.77	86.69
平成30年度	96.7	25.78	87.92
令和元年度	95.89	30.97	88.97
令和2年度	96.8	35.35	90.51
令和3年度	96.63	31.75	91.07



◆ 特定健康診査等事業 (6款1項1目)

対象者

南風原町国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査実施年度中に40歳から74歳となる者。

内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を行い、自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようサポートします。

特定健康診査等委託料	15,226 千円
報酬・賃金・報償費等	14,085 千円
その他	10,714 千円
合計	40,025 千円

次ページへ続く →

事

【健診項目】

1. 基本的な健診項目

身体測定(身長、体重、BMI、腹囲)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、血液化学検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)、肝機能検査(GOT、GPT、r-GTP)、血糖検査(空腹時または随時)、HbA1c検査、尿検査(尿糖、尿蛋白)、腎機能検査(血清クレアチニン)、血清尿酸検査

業

2. 詳細な検査の項目

心電図、眼底検査、貧血検査(赤血球数、血色素量[ヘモグロビン値]、ヘマトクリット値)のうち、一定の基準の下、医師が必要と判断したものを選択

3. 二次健診の項目

75g糖負荷検査、頸部エコー検査、血圧脈波検査(ABI、PWV)、微量アルブミン尿検査

の

特定健康診査・特定保健指導実績一覧表

項目 年度	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
H29	5,289	2,231	42.2%	306	260	84.0%
H30	5,228	2,052	39.3%	292	233	85.0%
R01	5,219	1,965	37.7%	258	192	74.4%
R02	5,222	1,715	32.8%	337	291	86.4%
R03	5,827	1,931	33.1%	194	117	60.3%

※上記実績は法定報告によるものです。令和3年度は法定報告がまだの為、R4.6月末現在値となっています。

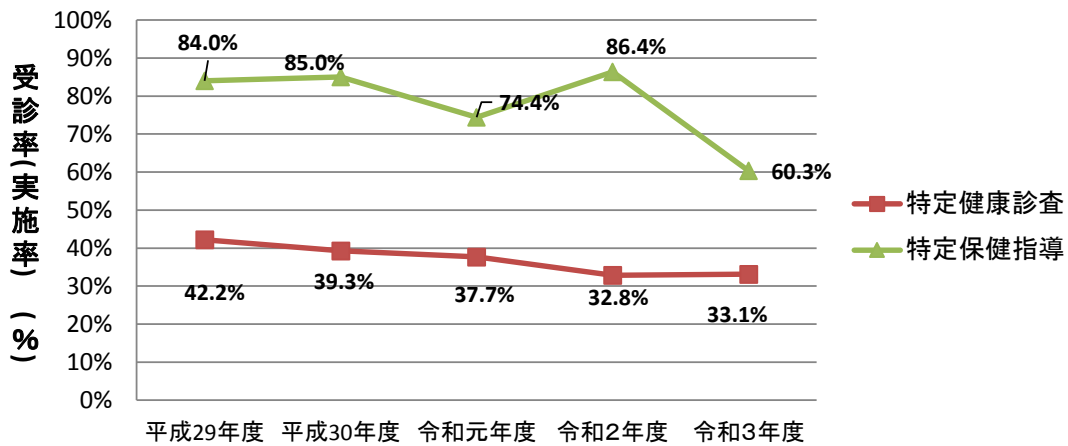
実

施

内

容

特定健康診査・特定保健指導実績



事

業

の

成

果

〈給付に係る経費〉

被保険者への保険給付等を実施する事により、医療の普及、保健の向上、生活の安定を図り、健康の保持・増進に寄与しました。

〈保険税収納率向上に係る経費〉

収納率(合計) 令和元年度 88.97% 令和2年度 90.51% 令和3年度 91.07%

厳しい社会情勢の中、納税者の国保制度に対する深い理解と関係各課等と連絡を密にした徴収の取り組み等により、収納率は対昨年度より0.56ポイント上がりました。

予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,325,590	4,264,774	1,471	3,105,880		18,202	1,139,221

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

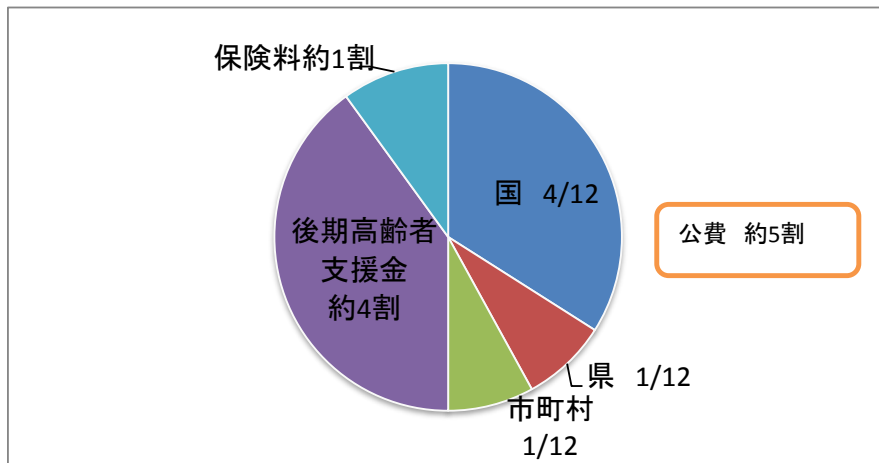
単位:千円

事業名	高齢者医療対策費		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	民生費	03
連絡先	889-1798		科	項	老人福祉費	01	
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	高齢者医療対策費	02	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	医療保険加入者で75歳以上の人又は65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。	後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することを目的とします。

事業の実施内容	後期高齢者医療制度の安定的運営を目指して、保険者である沖縄県後期高齢者医療広域連合へ療養給付費のほか事務費、基盤安定(保険料軽減対策)などの負担金を支出しています。	
	◆ 後期高齢者医療制度に係る経費(決算額)	
	・会計年度任用職員報酬等(保健師、看護師)	6,160 千円
	・消耗品費	41 千円
	・公用車リース料	420 千円
	・後期高齢者保険料保険基盤安定負担金繰出金	62,694 千円
	・後期高齢者療養給付費負担金(現年度分)	238,927 千円
	・後期高齢者療養給付費負担金清算金	1,994 千円
	・後期高齢者医療広域連合負担金	19,947 千円
	・後期高齢者特別会計へ事務費等繰出金	11,059 千円
・はり、きゅう、あん摩、マッサージ補助金	101 千円	
	合 計	341,343 千円

【参考 後期高齢者医療制度の財政の全体のイメージ】



これまでの医療費適正化事業に変わり、令和2年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が始まりました。保健師が健診データを分析し、看護師が保健指導・長寿健診受診勧奨を実施し、生活習慣病を重症化させないように努めることができました。後期高齢者の医療給付費・事務費等の費用の一部を負担することにより後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	341,565	341,343	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			0	47,020		6,722	287,601

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

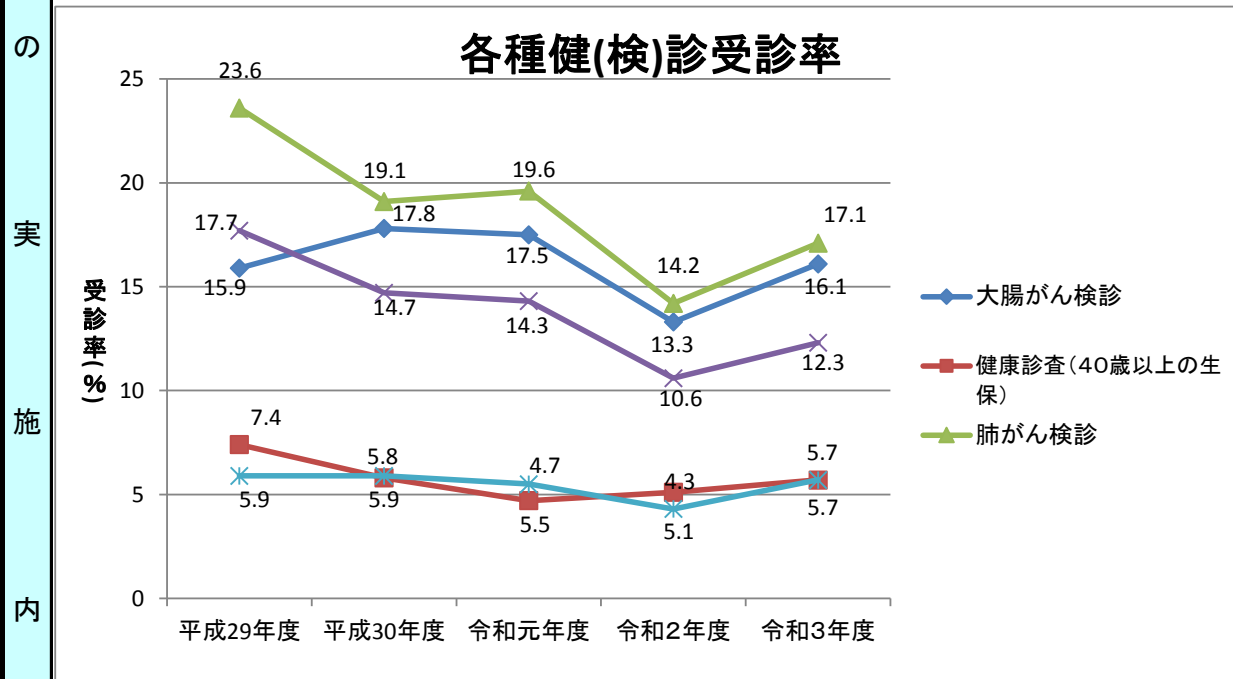
単位:千円

事業名	住民健診(健康診査)事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 国保年金課	課長名	算	款	衛生費	04
連絡先	889-7381		科	項	保健衛生費	01
目 標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち		目	目	成人保健対策費	05

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	40歳未満の方で、学校や職場等で健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に受診料を助成します。	受診料を助成し、経済的な面で受診しやすい環境を整えることで、町民の健康の保持と病気の早期発見、適切な医療の確保と、健康寿命の延伸を図ります。

40歳未満の方で、学校や職場などで健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に、住民健康診査(身長・体重・腹囲・尿検査・血液検査・医師の診察)を行います。希望者は、胃、肺、大腸がん検診及び眼底、心電図検査が受診できます。

住民健診(健康診査)事業費	
基本健診委託料(40歳未満・生保)	2,611 千円
胃がん検診委託料	7,349 千円
肺がん検診委託料	6,481 千円
大腸がん検診委託料	3,869 千円
その他	2,310 千円



※40歳未満健診の受診率は、対象者名簿により算出しています。
 ※40歳以上で生活保護の方の健診の受診率は、健康増進事業費補助金事業実績報告より算定しています。
 ※各種がん検診受診率は、医療機関実績報告により算定しています。

各種検診を医療機関への委託により実施した結果、要注意者、要治療者等を早期に発見し、早期治療・事後指導に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	26,620	22,620	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				150			22,470

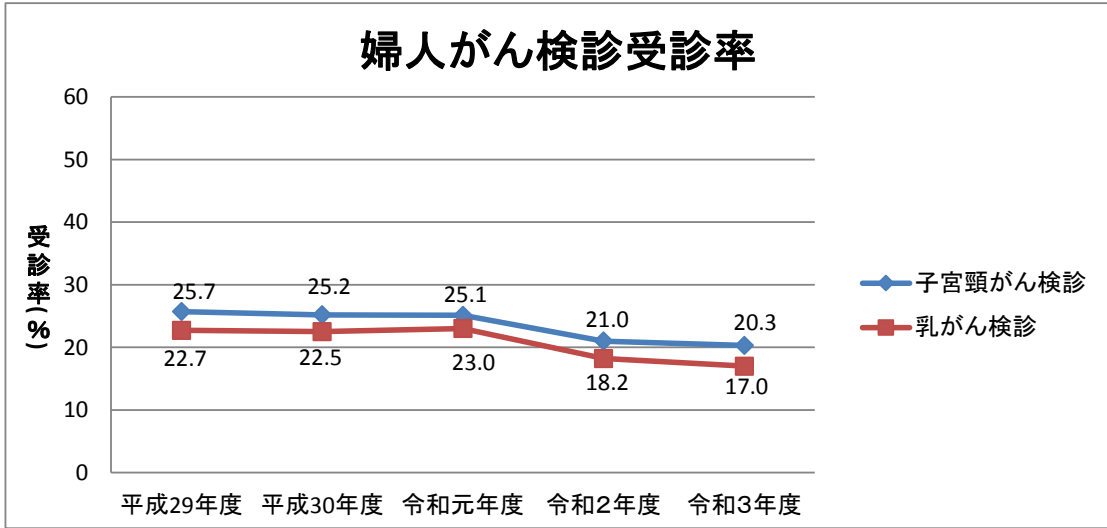
令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	婦人がん検診事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費	04
連絡先	889-1798		科	項	保健衛生費	01	
目 標	ちむぐるでつくる福祉と健康のまち		目	目	成人保健対策費	05	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	職場等で婦人がん検診を受診する機会のない女性の方を対象としています。子宮がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上の方の受診料を助成します。	受診料を助成し経済的な面で受診しやすい環境を整えることにより、婦人がんの早期発見・早期治療に役立て、町民の健康の保持・増進を図ります。

事業の実施内容	○婦人がん検診事業費	
	婦人がん検診委託料	8,881 千円
	婦人がん検診通知等(通信運搬費)	49 千円
	その他	253 千円



※受診率=(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100
 ※地域保健・健康増進事業報告書算出による受診率

○女性特有のがん検診推進事業
 この事業は、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、健康保持・増進を図るため、がん検診受診率を50%に上げることを目的として、以下の年齢の女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳と検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図ります。

クーポン対象年齢

【子宮頸がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
20歳	平成13年4月2日～平成14年4月1日

【乳がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
40歳	昭和56年4月2日～昭和57年4月1日

事業の成果
 検診を受けることにより、受診者の「がん」に対する早期発見等の予防意識の高まりへ繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	9,563	9,183	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				93			9,090

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	後期高齢者医療事業		予 算 科 目	会 計 項 目	後期高齢者医療特別会計	09	
部 課	民生部 国保年金課	課長名			高良 星一郎		
連絡先	889-1798						
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち						

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	75歳以上の人に対して、高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえた医療サービスを行います。	高齢期における医療の確保を図るため、共同連帯の理念等に基づき、適切な医療の給付等を行い、保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ります。

(1) 対象者:75歳以上の方(一定の障害がある65歳以上の方)
 (2) 被保険者数:3,222人(令和3年度平均被保険者数)
 (3) 事業費(決算額)
 ・総務費(職員給与等) 12,056千円
 ・後期高齢者医療広域連合納付金 316,700千円
 ・諸支出金 498千円

★主な事業内容
 ・被保険者の資格管理に関する申請及び届出の受付
 ・被保険者証及び資格証明書の引渡し・同返還の受付
 ・医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し
 ・保険料の徴収

【 保険料収納率 】

後期高齢者医療保険料収納率(%)

	現年度	滞繰分	計
H29	99.79	68.75	99.66
H30	99.81	54.72	99.64
R1	99.41	62.67	99.23
R2	99.82	55.70	99.57
R3	99.05	27.46	98.32

(百万円) 後期高齢者医療診療報酬等請求内訳

年度	費用額	保険者負担分(高額療養費含む)
H29	3,102	2,863
H30	3,176	2,904
R1	3,270	2,989
R2	3,301	3,027
R3	3,283	2,885

(千円) 後期高齢者医療被保険者数及び1人当たり診療報酬等請求内訳 (人)

年度	一人当たり費用額	1人あたり保険者負担分(高額療養費含む)	被保険者数年平均(人)
H29	1,053	971	2,947
H30	1,032	943	3,079
R1	1,022	934	3,201
R2	1,023	935	3,236
R3	1,019	895	3,222

事業の成果
 沖縄県を単位とした広域連合が保険料の賦課及び医療給付を行い、高齢社会の中で財政基盤の安定化を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	330,008	329,254	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
						254,205	75,049

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	妊婦一般健康診査事業	予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 国保年金課	算	款	衛生費	04
連絡先	889-7381	科	項	保健衛生費	01
目 標	ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち	目	目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	親子(母子)健康手帳の交付を受けた妊婦のうち、本町に住所を有する者	保険適用外である妊婦の健康診査を公費負担とすることで、経済的負担を軽減し、妊婦の健康の保持増進を図ります。

公費補助(全14回)	望ましい健診時期(有効期限)	健 診 内 容	公費負担額
2回目	(20~23週)	1. 基本的な健康診査 2. 超音波検査	5,000円
3回目	(24~28週)	1. 基本的な健康診査 2. 血液検査(貧血検査、血糖検査) 3. 超音波検査	6,000円
4回目	(29~33週)	1. 基本的な健康診査 2. 血液検査(貧血検査) 3. 超音波検査	6,000円
5回目	(34~出産)	1. 基本的な健康診査 2. 血液検査(貧血検査、GOP、GPT) 3. 帯下培養 4. 超音波検査	6,000円
9-1回目	9-1回目~9-9回目は順番が前後することも可能	1. 基本的な健康診査	5,040円
9-2回目		1. 基本的な健康診査 2. 超音波検査	9,820円
9-3回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9-4回目		1. 基本的な健康診査 2. 超音波検査	9,290円
9-5回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9-6回目		1. 基本的な健康診査 2. 超音波検査	9,820円
9-7回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9-8回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9-9回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
風疹・HIV・クラミア検査		1回目・できるだけ早い時期	風疹ウイルス抗体価検査、HIV抗体価検査、クラミア抗原検査
HTLV-1抗体検査	3~5回目 30週間までに	HTLV-1抗体価検査	2,290円

※「1. 基本的な健康診査」では、問診等による健康状態の把握、体重測定、血圧測定、尿検査等の定期検査、保健指導が行われます。
※上記それぞれの検査については、公費負担により無料で受診することができますが、項目以外の検査料は自己負担となります。
 ……例えば、超音波検査がない日に超音波検査を受けた場合の検査料金は自己負担となります。
 ※親子(母子)健康手帳交付時の週数に応じて必要な回数の受診票が発行されます。
 (2・3・4・5回目の受診票には有効期限が設けられています。妊娠がわかったら早めに親子健康手帳の交付を受けましょう。)

主な経費	委託料	47,615千円
	需用費	390千円
	扶助費	212千円
	合 計	48,217千円


●妊婦健康診査受診状況(令和3年度)
 受診実人員 561人
 受診件数 5,882件

健診を定期的に行うことで母体の疾病又は異常の早期発見及び防止になっています。また健診結果をもとに、リスクの高い妊婦に対して保健師・助産師による訪問や電話での相談等を行い、妊産婦の生活習慣に対する助言や出産に対する不安の解消を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	50,966	48,217					48,217

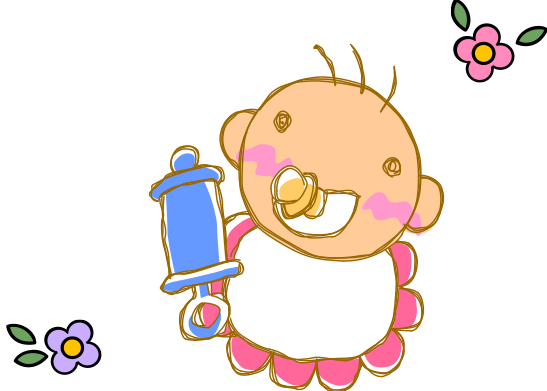
令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	新生児妊産婦訪問指導事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費	04
連絡先	889-7381		科	項	保健衛生費	01	
目 標	ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち		目	目	保健衛生総務費	01	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	第1子目の新生児または乳児とその産婦 (第2子以降は希望のあった方)		産前産後の母体の体調回復や新生児の発育状態の確認、子育ての相談・指導をとおして母親の不安を解消し、母子共に健康な生活を送ることができるように支援します。				
事業の内容	<p>訪問従事者・・・助産師、保健師</p> <p>《妊婦訪問》</p> <p>対象： 訪問が必要と判断された妊婦</p> <p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康状態、現状などの問診 ・健康診査の励行 ・妊娠、分娩、産褥及び育児に関する知識 ・生活環境 ・精神保健 ・妊娠期における歯科疾患の予防、及び治療励行 ・家族計画等 						
	<p>《新生児・乳児及び産婦訪問》</p> <p>対象： 第1子目の新生児または乳児とその産婦 (第2子以降で希望のあった方)</p> <p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児、産婦の健康状態などの問診 ・母乳栄養について ・抱き方、寝かせ方 ・乳房マッサージ施行 ・予防接種について ・新生児の生理について ・産後の経過について ・産後の休暇の取り方 ・事故予防について ・母子制度の説明 ・清潔、皮膚の手入れ ・操体法実施 ・ベビーマッサージ施行 ・オムツの当て方 ・家族計画 ・その他 <p>主な経費</p> <p>委託料 1,395千円</p>						
事業の成果	延べ279件の訪問指導を実施し、産前産後のさまざまな悩みや不安を感じやすい時期に、助産師・保健師が訪問し相談相手となることで、不安や悩みの解消を図り、母子ともに健康な生活が送れるよう支援しました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,400	1,395	423	423		549	


令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	未熟児養育医療事業		予	会計	一般会計	01													
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費	04												
連絡先	889-7381		科	項	保健衛生費	01													
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	保健衛生総務費	01													
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																
	出生時体重2,000グラム以下もしくは医師が入院養育を必要と認めた乳児		医療を必要とする未熟児に対して、入院養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ります。																
事業の内容	<p>○未熟児養育医療とは</p> <p>身体の発達が未熟なまま出生した乳児に対して、医師が入院養育を必要と認めた場合、費用の一部を国、県、市町村が負担する制度です。(保護者の所得に応じて自己負担額が決められます。また自己負担分はこども医療費助成の対象になります。)</p> <p>○対象</p> <p>南風原町に住所を有し、次のいずれかの症状があり、医師が入院養育を必要と認めた乳児が対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出生時の体重が2,000g以下のもの。 2. 生活能力が特に薄弱であって医師が入院養育を必要と認めたもの。 <p>主な経費</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>扶助費</td> <td style="text-align: right;">7,580千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">2千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">7,582千円</td> </tr> </table> <p><令和3年度></p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>給付実人員</td> <td style="text-align: right;">19人</td> </tr> <tr> <td>給付延件数</td> <td style="text-align: right;">63件</td> </tr> <tr> <td>給付延日数</td> <td style="text-align: right;">1,416日</td> </tr> </table>					扶助費	7,580千円	委託料	2千円	合 計	7,582千円	給付実人員	19人	給付延件数	63件	給付延日数	1,416日		
	扶助費	7,580千円																	
委託料	2千円																		
合 計	7,582千円																		
給付実人員	19人																		
給付延件数	63件																		
給付延日数	1,416日																		
事業の成果	<p>養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図りました。また、保健師による退院後の訪問指導(相談)につなげることで継続した支援を行っています。</p>																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源												
	10,373	7,582	787	506	1,542	4,747													

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	乳児一般健康診査事業			予	会計	一般会計	01																
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費	04																
連絡先	889-7381			科	項	保健衛生費	01																
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち			目	目	保健衛生総務費	01																
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)																			
	生後4ヶ月を超え、満1歳に達しない乳児 (前期:4ヶ月～5ヶ月児、後期:9ヶ月～10ヶ月児)			健康診査、栄養指導、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、乳児の健康の保持及び増進を図ります。																			
事業の実施内容	<p>乳児一般健康診査(毎月実施/年10回) ※コロナ感染症拡大防止のため延期あり (当初予定 年12回)</p> <p>会場: ちむぐる館</p> <p>健診内容 ・身体測定(体重・身長・胸囲・頭囲) ・貧血検査(血色素量)(後期児のみ) ・小児科医による診察 ・栄養指導 ・保健指導</p> <p>スタッフ ・小児科医師 3名 ・検査技師 2名 ・看護師 3名 ・栄養士 6名 ・保健師 5名 ・母子保健推進員 4名 ・事務職員 6名 (対象人数によって調整)</p> <div style="text-align: right;">  <p>主な経費</p> <table border="1"> <tr> <td>乳児健診委託料</td> <td>5,880千円</td> </tr> <tr> <td>健診案内通知等</td> <td>127千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費、印刷製本費</td> <td>200千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>6,207千円</td> </tr> </table> </div>							乳児健診委託料	5,880千円	健診案内通知等	127千円	消耗品費、印刷製本費	200千円	合 計	6,207千円								
	乳児健診委託料	5,880千円																					
健診案内通知等	127千円																						
消耗品費、印刷製本費	200千円																						
合 計	6,207千円																						
事業の成果	<p>令和3年度 乳児健診受診状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,156</td> <td>987</td> <td>85.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>健診結果内訳(延べ件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>問題なし</th> <th>既医療</th> <th>要観察・相談</th> <th>要医療</th> <th>要精密検査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>791</td> <td>41</td> <td>83</td> <td>2</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>乳児期の発育発達の確認や、心身の異常の早期発見はもとより、心身ともにすやかに成長できるための育児環境づくり、各月齢ごとの発達の様子をまとめた「子どもノート」を活用し育児不安の解消を図りました。</p>							対象者数	受診者数	受診率	1,156	987	85.4%	問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査	791	41	83	2	70
	対象者数	受診者数	受診率																				
1,156	987	85.4%																					
問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査																			
791	41	83	2	70																			
事業の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
	7,323	6,207	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
							6,207																

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	1歳6か月児健康診査事業			予	会計	一般会計	01																
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費	04																
連絡先	889-7381			科	項	保健衛生費	01																
目 標	ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち			目	目	保健衛生総務費	01																
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)																			
	満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児			健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。																			
事業の実施内容	<p>1歳6か月児健康診査(毎月実施/年13回) ※コロナ感染症拡大防止のため延期あり(当初予定/年15回)</p> <p>会場: ちむぐる館</p> <p>健診内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体測定(体重・身長・胸囲・頭囲) ・貧血検査(血色素量) ・歯科医による診察 ・歯科衛生士の指導及び相談 ・小児科医による診察 ・栄養指導及び相談 ・保健指導及び相談 ・心理相談 <p>スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児科医師 1名 ・歯科医師 1名 ・歯科衛生士 1名 ・検査技師 1名 ・看護師 1名 ・心理相談士 1名 ・栄養士 2名 ・保健師 3名 ・母子保健推進員 4名 ・事務職員 2名 <div style="text-align: right;">  <p>主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>医師等謝礼金</td> <td>1,616千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費・通知費等</td> <td>64千円</td> </tr> <tr> <td>健診委託料</td> <td>673千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,353千円</td> </tr> </table> </div>							医師等謝礼金	1,616千円	消耗品費・通知費等	64千円	健診委託料	673千円	合 計	2,353千円								
	医師等謝礼金	1,616千円																					
消耗品費・通知費等	64千円																						
健診委託料	673千円																						
合 計	2,353千円																						
事業の内容	<p>令和3年度 1歳6か月児健診受診状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>682</td> <td>602</td> <td>88.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>健診結果内訳(延べ件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>問題なし</th> <th>既医療</th> <th>要観察・相談</th> <th>要医療</th> <th>要精密検査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>512</td> <td>12</td> <td>62</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>							対象者数	受診者数	受診率	682	602	88.3%	問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査	512	12	62	0	16
	対象者数	受診者数	受診率																				
682	602	88.3%																					
問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査																			
512	12	62	0	16																			
事業の成果	<p>幼児期の身体、精神の発育発達の状態を確認することができました。また、保護者が子の発育・発達の原理を知り、日常で実践できるよう支援する事ができました。</p>																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	2,753	2,353					2,353																

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	3歳児健康診査事業		予	会計	一般会計	01																
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費	04															
連絡先	889-7381		科	項	保健衛生費	01																
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	保健衛生総務費	01																
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																			
	満3歳5ヶ月を超え4歳に達しない幼児		健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。																			
事業の内容	<p>3歳児健康診査(毎月実施/年13回) ※コロナ感染症拡大防止のため延期あり(当初予定 年15回)</p> <p>会場: ちむぐくる館</p> <p>健診内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体測定(体重・身長・胸囲・頭囲) ・尿検査(尿蛋白・尿糖) ・視能訓練士による眼科検査 ・小児科医による診察 ・歯科医による診察 ・歯科衛生士の指導及び相談 ・保健指導及び相談 ・栄養指導及び相談 ・心理相談(必要時) <p>スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児科医師 1名 ・歯科医師 1名 ・歯科衛生士 1名 ・検査技師 1名 ・視能訓練士 3名 ・看護師 1名 ・心理相談士 1名 ・栄養士 2名 ・保健師 3名 ・母子保健推進員 3名 ・事務職員 2名 <p>主な経費</p> <table border="1"> <tr> <td>3歳児健診委託料</td> <td>1,944千円</td> </tr> <tr> <td>健診スタッフ等謝礼金</td> <td>611千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費・通知費等</td> <td>419千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,974千円</td> </tr> </table>						3歳児健診委託料	1,944千円	健診スタッフ等謝礼金	611千円	消耗品費・通知費等	419千円	合 計	2,974千円								
	3歳児健診委託料	1,944千円																				
健診スタッフ等謝礼金	611千円																					
消耗品費・通知費等	419千円																					
合 計	2,974千円																					
実施内容	<p>令和3年度 3歳児健診受診状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>651</td> <td>565</td> <td>86.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>健診結果内訳(延べ件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>問題なし</th> <th>既医療</th> <th>要観察・相談</th> <th>要医療</th> <th>要精密検査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>459</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table>						対象者数	受診者数	受診率	651	565	86.8%	問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査	459	18	14	1	73
	対象者数	受診者数	受診率																			
651	565	86.8%																				
問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査																		
459	18	14	1	73																		
事業の成果	<p>幼児期における視覚、聴覚も含めた発育・発達の確認をし、心身の障がい未然に防止するとともに、生活習慣の自立、社会性の発達の確保ができるよう支援ができました。</p>																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
	3,643	2,974				2,974																

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	長寿県復活食の応援事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費	04
連絡先	889-7381		科	項	保健衛生費	01	
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	保健対策推進費	06	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内に住所を有する小学5年生及び中学2年生	将来の生活習慣病の予防に向け、町内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。

1. 学童期における生活習慣病予防健診及び保健指導
 小学5年生、中学2年生への生活習慣病予防健診(採血等)の実施と結果に基づいた保健指導の実施
 《生活習慣病予防健診》



○主な経費

- ・学童期生活習慣病予防健診 …… 2,489千円
- ・通信運搬費 …… 120千円

事業の
実
施
内
容

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
対象者	908	976	932	990	1032	1031
小5	464	509	476	516	512	540
中2	444	467	456	474	520	491
受診者	241	321	310	463	305	363
小5	154	206	187	280	170	204
中2	87	115	123	183	135	159
受診率	26.5	32.9	33.3	46.8	29.6	35.2
小5	33.2	40.5	39.3	54.3	33.2	37.8
中2	19.6	24.6	27.0	38.6	26.0	32.4
結果説明会参加数 (結果説明会参加含む)	209	197	220	301	29	21
小5	—	143	127	172	14	7
中2	—	54	93	129	15	14
保健指導率	86.7	61.4	71.0	65.0	9.5	5.8
小5	—	69.4	67.9	61.4	8.2	3.4
中2	—	47.0	75.6	70.5	11.1	8.8

※R2.3年度はコロナ感染拡大防止の観点から集団結果説明会は実施せず

事業の成果
 コロナ禍でしたが、感染拡大防止を図りながら継続して事業を実施できました。健診結果についても個別での結果説明やパンフレット等を用いた情報提供など感染拡大防止に留意し実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,669	2,609		2,087			522

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	予防接種事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費 04	
連絡先	889-7381		科	項	保健衛生費	01	
目 標	ちむぐるでつくる福祉と健康のまち		目	目	予防費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	乳幼児や児童・生徒及び65歳以上の高齢者等を対象に実施します。			伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、町民の健康の保持に努めます。			
事業の概要	令和3年度決算内訳		単位:千円				
	予防接種医師委託料			166,870			
	その他			5,265			
	合 計			172,135			
事業の内容及び実施状況	令和3年度定期予防接種状況						
	接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	対象年齢	
	ヒブ	1回	527	532	100.9%	2ヶ月～5歳未満	
		2回	527	518	98.3%		
		3回	527	499	94.7%		
		追加	549	536	97.6%		
	小児用肺炎	1回	527	529	100.4%	2ヶ月～5歳未満	
		2回	527	520	98.7%		
		3回	527	499	94.7%		
		追加	549	522	95.1%		
	4種混合	1回	522	530	101.5%	3ヶ月～7歳半未満	
		2回	522	509	97.5%		
		3回	522	514	98.5%		
		追加	588	582	99.0%		
	BCG	1回	515	497	96.5%	5ヶ月～1歳未満	
	ロタウイルス	1回	519	508	97.9%	生後2ヶ月～24週(32週) ※ワクチンによって接種回数と期限が異なります。	
		2回	519	497	95.8%		
		3回	519	78	15.0%		
	M R	1期	560	537	95.9%	1歳～2歳未満	
		2期	561	494	88.1%	5歳～7歳未満で小学就学前の1年間	
	水痘	1回	549	534	97.3%	1歳～3歳未満	
		2回	588	518	88.1%		
	B型肝炎	1回	527	525	99.6%	2ヶ月～1歳未満	
		2回	527	516	97.9%		
		3回	527	482	91.5%		
	日本脳炎1期	1回	530	523	98.7%	6ヶ月～7歳半未満	
		2回	530	532	100.4%		
追加		566	431	76.1%			
日本脳炎	2期	592	143	24.2%	9歳～13歳未満		
D T	2期	538	329	61.2%	11歳～13歳未満		
子宮頸がん	1回	252	7	2.8%	13歳～16歳になる女性		
	2回	252	6	2.4%			
	3回	252	4	1.6%			
インフルエンザ	1回	7,851	4,285	54.6%	65歳以上		
高齢者肺炎	1回	1,104	282	25.5%	令和3年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者、100歳以上になる者		
風しん	抗体検査	808	199	24.6%	昭和41年4月2日～ 昭和47年4月1日生まれの男性 (予防接種は、抗体検査の結果「抗体なし」と判断された者)		
	予防接種		46				
事業の成果	予防接種を実施することにより、伝染の恐れがある疾病及びまん延を予防する事ができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	177,896	172,135	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,013	8,762			161,360

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 国保年金課	課長名	高良 星一郎	算	款	衛生費	04
連絡先	889-7381		科	項	保健衛生費	01	
目 標	ちむぐるでつくる福祉と健康のまち		目	目	予防費	02	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	5歳以上の町民を対象にした臨時接種。	新型コロナウイルスの発生及びまん延を予防又は、感染時の重症度を軽減するため、接種率向上に努めます。

1. 新型コロナウイルス接種対策事業
令和3年度決算内訳 単位:千円

集団接種会場での医師看護師への謝礼金	63,143
個別医療機関等での接種委託料	72,620
町内医療機関での時間外・休日接種委託料	227,730
その他	3,093
合 計	366,586

集団接種会場での接種実績

設置回数	接種人数
118回	30,652人

個別医療機関での接種実績

町内の接種医療機関数	接種人数
17箇所	31,745人

町内医療機関での時間外・休日接種実績

時間外接種	休日接種
94,114回	64,941回



全年代対象者の接種率(R4.4.22現在)

接種回数	対象人口	接種人数	接種率
1回目	38,129	28,506	74.76%
2回目	38,129	28,006	73.45%
3回目	34,124	14,434	42.30%



2. 新型コロナウイルス接種体制確保事業
接種体制確保事業補助金内訳 4回目の集団接種の会場

接種体制確保に係る経費(看護師報酬・コールセンター委託費等)	76,051
集団接種会場運営に係る経費(人材派遣費・会場設営費等)	65,992
その他	1,367
合 計	143,410

事業の成果
新型コロナウイルスワクチン接種を推進することにより、新型コロナウイルスのまん延予防及び罹患後の重症化の軽減を図る事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	716,784	509,996	508,277			1,719	0

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	宮平保育所運営事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	民生費	03	
連絡先	889-7028		科	児童福祉費	02		
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02		
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	就労家庭等保育を必要とする世帯の子どもたち。		家庭に代わり子ども達が安全で楽しく過ごせるよう保育に努めます。支援を必要とする子への適切な対応、早期発見が望まれるようなケースについても、先駆けとなって丁寧な保育に取り組んでいきます。				
事業の実施内容	宮平保育所運営事業						
	主な経費 <ul style="list-style-type: none"> ○ 会計年度任用職員報酬・給料・職員手当等 26,839千円 日常の保育業務を行う会計年度任用職員(保育士)や、非常勤の調理員を雇用しており、その賃金や手当として使われています。 ○ 給食材料費 4,756千円 栄養のバランスがとれた園児の給食・おやつ・ミルクの材料費として使われています。 ○ 光熱水費 2,458千円 保育所を運営するために必要なエネルギーである、電気・水道・ガスの使用料金として使われています。 ○ 消耗品 1,099千円 保育用教材・薬品・洗剤や、施設内の消耗品・事務用品等の購入に使われています。 ○ その他の費用 3,932千円 保育所を運営するために必要不可欠な行事費、健康診断料、施設の修繕費、電話料金、保険料、衛生管理費等として使われています。 						
事業の成果							
	水遊びの後はスイカを食べるぞ!!		サンタクロースからプレゼントをもらいました				
事業の成果	保護者と連携を図りながら、乳幼児期の子ども達の健やかな成長・発達を促し、保育の充実と子育ての支援に取り組みました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,525	39,084	6	6	6,948	32,124	

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認可保育園事業・補助(保育所運営費)			予 算 科 目	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣		款	民生費	03
連絡先	889-7028				項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	認可保育園に在籍する児童とその保護者	就労等で保育が必要な保護者に代わって保育を行い、入所児童の心身の健全な発達を確保します。

1. 入所児童数 (令和4年3月1日現在) 単位:人、%

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	弾力化
宮平保育所	60	6	8	11	15	10	0	50	83.3%
公立計	60	6	8	11	15	10	0	50	83.3%
津嘉山保育園	160	20	32	32	29	27	8	148	92.5%
かねぐすく保育園	100	14	12	18	23	18	15	100	100.0%
南風原はなぞの保育園	141	12	30	30	28	22	24	146	103.5%
若夏保育園	120	24	28	28	28	25	0	133	110.8%
みつわ保育園	136	15	28	28	26	27	13	137	100.7%
さんご保育園	180	21	35	36	38	32	19	181	100.6%
はえばる保育園	150	15	34	36	35	28	0	148	98.7%
マイフレンズ保育園	120	15	24	21	31	17	14	122	101.7%
ていだ保育園	120	15	24	24	30	27	0	120	100.0%
なのはな保育園	120	15	24	24	23	25	12	123	102.5%
よなは保育園	97	12	18	18	17	18	17	100	103.1%
ももの木保育園	60	9	12	17	24	12	0	74	123.3%
やまがわ保育園	77	9	12	23	25	16	0	85	110.4%
南風原やまびこ保育園	60	9	10	13	15	13	0	60	100.0%
明星保育園	90	17	18	20	34	14	3	106	117.8%
よなは第2保育園	72	15	18	18	18	17	0	86	119.4%
広域入所	—	2	1	0	0	0	2	5	—
私立計	1,803	239	360	386	424	338	127	1,874	103.7%
合計	1,863	245	368	397	439	348	127	1,924	103.0%

2. 運営費支弁額 (令和3年度実績) 単位:千円

施設名	運営費	施設名	運営費
津嘉山保育園	176,586	なのはな保育園	132,805
かねぐすく保育園	111,431	よなは保育園	116,620
南風原はなぞの保育園	163,476	ももの木保育園	107,580
若夏保育園	164,046	やまがわ保育園	111,519
みつわ保育園	151,872	南風原やまびこ保育園	96,775
さんご保育園	204,395	明星保育園	130,565
はえばる保育園	171,568	よなは第2保育園	120,485
マイフレンズ保育園	125,896	広域入所	1,960
ていだ保育園	137,396	合計	2,224,975

事業の成果

保育所において家庭や地域社会と連携を図り、こどもが安全で情緒の安定した生活ができるよう環境を整備し、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,229,779	2,224,975	1,090,794	439,908	0	174,855	519,418

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	延長保育促進事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	法人保育園に入所した児童	法人保育園における保育士配置の充実を図ることにより11時間の開所時間の始期及び終期前後の保育需要への対応の推進を図ります。

- 認可保育園延長保育促進事業補助金(19園) 10,727千円
利用者延人数(23,458人) 1日平均104人
- ・ 対象児童は実際に延長保育を利用した保育所入所児童です。
- ・ 対象児童に対し、適宜、間食等を提供します。
- ・ 保護者が仕事をする上で終業が遅くなったときなど、安心してこどもを預ける事ができます。

延長保育促進事業利用状況(各月1日当たり平均人数) 単位:人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年1日平均
津 嘉 山 保 育 園	3	4	2	5	3	5	6	6	5	2	4	4	4
かねぐすく保育園	4	7	6	6	5	4	6	6	5	3	4	5	5
南風原はなぞの保育園	8	8	4	6	4	6	7	7	8	5	5	6	6
若 夏 保 育 園	6	6	2	3	2	3	6	5	5	3	3	3	4
みつわ保育園	9	12	9	10	7	7	10	11	11	6	10	9	9
さんご保育園	14	12	10	14	12	14	17	17	17	9	13	17	14
はえばる保育園	3	4	3	5	3	2	5	8	6	3	4	3	4
マイフレンス*保育園	6	4	5	4	4	6	7	7	6	4	4	4	5
ていだ保育園	8	10	8	10	6	9	10	13	13	8	8	10	9
なのはな保育園	3	4	3	4	4	4	6	8	8	5	6	5	5
よなは保育園	7	5	4	5	4	4	5	5	11	7	6	7	6
ももの木保育園	3	4	2	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3
やまがわ保育園	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	1	1	2
南風原やまびこ保育園	2	3	3	2	3	2	3	3	3	2	2	3	2
よなは第2保育園	14	13	15	11	14	15	15	15	16	17	18	16	15
明星保育園	3	5	3	4	0	3	3	4	5	2	2	2	3
開邦幼稚園	6	4	3	4	5	6	6	5	6	3	5	6	5
めだか保育園	1	1	2	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1
くわの実保育園	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	102	108	89	101	84	97	119	127	132	84	100	108	104

- 新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金(延長保育事業分) 1,996千円
新型コロナウイルス感染症対策に必要な人件費、消耗品(マスク・アルコール消毒液等)や備品等(体温計・空気清浄機等)の購入費などの経費に対し、補助を行いました。

事業の成果
就労形態の多様化等に伴いやむを得ない理由で、通常保育時間内(7時~18時)に保育園へ児童の送り迎えができない保護者に対して、延長保育を実施し安心して子育てができる環境を整備することにより、保育の充実を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,537	12,723	4,240	4,240			4,243

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	障がい児保育事業(発達支援児保育事業)		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐるでつくる福祉と健康のまち		目	目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内の認可保育園に通う発達支援児を受け入れている園を対象とします。	保育を必要とし、かつ発達に課題がある児童に対して、集団保育の中で適切な指導を実施することによって、健常児とともに健全な成長、発達を促すことを目的とします。

事業内容
南風原町発達支援児保育事業実施要綱等により行う事業を実施している認可保育園等に対し、補助を行いました。
決算額 : 35,785千円

補助金の額の算定方法

各月初日現在の対象児童数	基準額	対象経費
1名	71,000円(月額単価)×入所月数	発達支援児保育実施に必要な経費
2名	197,000円(月額単価)×入所月数	
3名以上	3名以上については、197,000円(月額単価)に、対象児童数が1名増すごとに126,000円を加算した金額×入所月数	

令和3年度 発達支援児保育事業補助金 実施実績


	施設名	対象園児数	補助実績額
1	宮平保育所	2人	
2	よなは保育園	1人	852,000円
3	なのはな保育園	1人	639,000円
4	南風原はなぞの保育園	3人	3,876,000円
5	マイフレンズ保育園	4人	3,624,000円
6	やまびこ保育園	3人	3,876,000円
7	ていだ保育園	3人	2,994,000円
8	さんご保育園	1人	852,000円
9	はえばる保育園	1人	852,000円
10	津嘉山保育園	1人	852,000円
11	若夏保育園	2人	2,364,000円
12	やまがわ保育園	4人	5,010,000円
13	ももの木保育園	1人	852,000円
14	みつわ保育園	2人	2,364,000円
15	明星保育園	3人	2,348,000円
16	よなは第2保育園	2人	2,364,000円
17	めだか保育園	2人	1,214,000円
18	開邦幼稚園	1人	852,000円
一	合計	37人	35,785,000円

事業の成果
発達支援児保育事業は、集団保育が可能な発達支援児に対し、適切な保育を支援・実施する事業です。有識者による巡回指導、発達支援児交流会、発達支援児研究発表会なども行っております。巡回指導により、保育士が対象児童との関わり方を学び、さらに、成長・発達課題をしっかりとおさえ、児童に合った働きかけを大切にすることで、社会性を育てるなど、発達支援児保育事業の充実を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	38,527	35,785					35,785

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認可保育園事業・町単独事業			予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03	
連絡先	889-7028			科	項	児童福祉費	02	
目 標	ちむぐるでつくる福祉と健康のまち			目	目	児童福祉総務費	01	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)				
	町内の認可保育園、地域型保育施設及び認定こども園の運営を支援します。			施設や施設の職員を支援することにより安定した運営を促し、児童に対するよりよい保育の実施を図ります。				
事業の実施内容	<p>1. 発達支援児保育特別措置会議委員謝礼金 10千円 発達に課題がある児童の適正な入所を図るため、有識者を含めた関係者による発達支援児保育実施会議を実施します。</p> <p>2. 発達支援児保育巡回指導員謝礼金 270千円 発達に課題がある児童について、児童が通う認可保育園等を有識者が訪問し、施設の職員及び保護者に保育・子育ての助言を行うことにより、児童の健全な社会性の成長、発達を促します。</p> <p>3. 発達支援児保育研修会講師謝礼金 8千円 発達に課題がある児童の保育や子育てについて、認可保育園等の職員や保護者を対象に有識者による講演会や相談会などを実施することにより、保育や子育てをサポートします。</p> <p>4. 保育料自動振替取扱手数料 59千円</p> <p>5. 保育士等就職一時金 3,600千円 待機児童の解消に向けた保育士確保を図るため、新たに認可保育所等に就職し、1年以上又は2年以上継続して勤務した保育士に対し、保育士就職支援一時金を交付します。 ※就職支援一時金交付対象者36名 (1年以上継続して勤務:36名、2年以上継続して勤務:0名) ※令和3年度から開始した事業のため、令和3年度は2年以上継続して勤務した保育士の該当者はいません。</p> <p>※令和3年度は、県の「待機児童解消支援交付金」を活用する事により、保育士等就職一時金の1/2(1,800千円)の歳入がありました。</p>							
					<p>←お楽しみ保育 「県立図書館へGO！」 (津嘉山保育園)</p>			
	事業の成果	<p>・有識者による巡回指導、発達支援児交流会、発達支援児研究発表会などを実施することにより、保育士や保護者に対し、発達に課題がある児童の保育や子育ての方法について助言・支援することができ、負担感を和らげることができました。また、発達に課題がある児童は、より適切な保育を受けることができるようになりました。</p> <p>・就職支援一時金を交付することにより、保育士を確保し待機児童解消を図ることができました。また、施設の安定した運営にもつながりました。</p>						
		予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
		4,224	3,947	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,800			2,147	

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	地域型保育事業・補助		予 算 科 目	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 こども課	課長名		儀間 博嗣	款	民生費	03
連絡先	889-7028			項	児童福祉費	02	
目 標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち			目	保育所運営事業	02	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	地域型保育施設(小規模・事業所内保育施設)	事業所の施設等で従業員の児童を保育すると共に、地域枠を設け0~2歳児の保育を実施することで、待機児童の解消を行う。

1. 入所児童数(令和4年3月1日現在)
 ○小規模保育施設 単位:人

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	合計
めだか保育園	18	0	9	11	20
くわの実保育園	19	9	9	7	25
たいようのおか保育園	19	5	11	5	21
ばすてる保育園つかざん園	19	6	8	8	22
ひまわり保育園	19	6	6	0	12
合計	94	26	43	31	100

○事業所内保育施設 ※町内在住者のみ

施設名	地域枠	従業員枠	合計
よいサマリヤ人保育園(南風原町)	10	12	22
町内施設 計	10	12	22
いずみのもり保育園(那覇市)	—	1	1
きらら保育園(八重瀬町)	—	1	1
ふたば保育園(豊見城市)	—	1	1
もこもこ保育園(浦添市)	—	1	1
ピンブ保育園(那覇市)	—	1	1
産業支援センター内保育園(那覇市)	—	1	1
広域入所 計	—	6	6
合計	10	18	28

○地域型保育事業は、平成27年度より施行された子ども・子育て支援制度に伴い市町村が設置認可・確認を行い、待機児童の多い0歳児から2歳児を受け入れる施設です。その中のひとつである事業所内保育事業は、事業所の所在地の各市町村が設置認可・確認した事業所内保育所にて、従業員の児童以外に地域の待機児童の受け入れを行い、待機児童の解消を図っています。令和2年度現在、町認可施設として小規模保育施設4園、事業所内保育施設1園が運営を行っています。

2. 運営費支弁額(令和3年度実績) 単位:千円

施設名	①公定価格	②利用者負担額	支弁額(①-②)	備考
めだか保育園	44,336	5,207	39,129	
くわの実保育園	56,602	3,920	52,682	
たいようのおか保育園	50,187	4,808	45,379	
ばすてる保育園つかざん園	55,767	4,926	50,841	
ひまわり保育園	10,578	602	9,976	
竹の子乳児園(与那原町)	2,223	179	2,044	
小規模保育運営費(小計)	219,693	19,642	200,051	
よいサマリヤ人保育園(南風原町)	34,703	2,414	32,289	
もこもこ保育園(浦添市)	927	75	852	11月~3月
キティーハウス(西原町)	934	0	934	4月~12月
きらら保育園(八重瀬町)	3,015	531	2,484	
ピンブ保育園(那覇市)	3,002	368	2,634	
ふたば保育園(豊見城市)	1,739	195	1,544	
いずみのもり保育園(那覇市)	1,680	271	1,409	
産業支援センター内保育園(那覇市)	213	28	185	3月のみ
事業所内保育運営費(小計)	46,213	3,882	42,331	
合計	265,906	23,524	242,382	

事業の成果
 地域型保育施設にて、0歳~2歳の子どもを受け入れる事で、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	242,726	242,383	144,097	53,189	0	0	45,097

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	保育対策総合支援事業			予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03	
連絡先	889-7028			科	項	児童福祉費	02	
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち			目	目	保育所運営事業	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)				
	町立宮平保育所 町内の法人保育園及び地域型保育施設並びに認可外保育施設			保育士が働きやすい職場の環境整備を行い、就業継続及び離職防止を図ります。				
事業内容	<p>1. 保育体制強化事業補助金 10,948千円 実施園11園(よなは保育園、南風原はなぞの保育園、マイフレンズ保育園、南風原やまびこ保育園、さんご保育園、津嘉山保育園、やまがわ保育園、ももの木保育園、みつわ保育園、明星保育園、よなは第2保育園) ※保育士資格を有しない保育支援者を配置した認可保育園等に対して補助(人件費)を行いました。</p> <p>2. 保育補助者雇上強化事業補助金 16,443千円 実施園8園(よなは保育園、ていだ保育園、さんご保育園、ももの木保育園、明星保育園、よなは第2保育園、めだか保育園、ばすてる保育園つかざん園) ※保育士資格を有しない保育補助者を配置した認可保育園等に対して補助(人件費)を行いました。</p> <p>3. 保育士宿舍借上支援事業補助金 2,638千円 実施園5園(ていだ保育園、ももの木保育園、よなは第2保育園、くわの実保育園、開邦幼稚園) ※保育士の宿舍を借り上げた認可保育園等に対して補助(家賃)を行いました。</p> <p>4. 認可外保育施設衛生・安全対策事業補助金 43千円 実施園2園(さくら保育園、なないろ乳幼児園) ※保育士等の感染症罹患の有無を発見するため、健康診断を受診した認可外保育施設に対して補助(健康診断費用)を行いました。</p> <p>5. 保育環境改善等事業(新型コロナウイルス感染症対策支援事業) ・町立宮平保育所(消耗品費、備品購入費) 483千円 ・認可保育園、地域型保育施設、認可外保育施設への補助 12,756千円 実施園31園(認可保育園16園、地域型保育施設6園、認可外保育施設9園) ※新型コロナウイルス感染症対策に必要な人件費、消耗品(マスク・アルコール消毒液等)や備品等(体温計・空気清浄機等)の購入費などの経費に対し、補助を行いました。</p> <p>6. 保育環境改善等補助金(安全対策事業) 587千円 実施園2園(若夏保育園、よなは第2保育園) ※睡眠中の事故防止対策に必要な機器の購入について、補助を行いました。</p> <p>7. 保育所等におけるICT化推進事業 3,750千円 実施園5園(マイフレンズ保育園、はえばる保育園、たいようのおか保育園、ばすてる保育園、つかざん保育園、ひまわり保育園) ※保育士の業務負担を軽減するために、保育に関する計画・記録に関する機能や、園児の登園及び降園の管理に関する機能、保護者との連絡に関する機能などを有するシステムを導入するための初期費用について、認可保育園等に対して補助を行いました。</p>							
	事業の成果	<p>保育対策総合支援事業は、保育士の業務や健康面での支援を行い、就業継続・離職防止を図る事業や保育士資格を有しない保育補助者に保育士資格の取得を促し、保育人材の確保を図る事業、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する事業などを実施することにより、日々、園児を対応している保育士等の業務環境の改善・充実を推進及び感染症拡大を防止する対策を図ることが出来ました。</p>						
	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		49,577	47,648	14,780	23,444			9,424

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	保育対策総合支援事業(令和2年度からの繰越明許)		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち			目	目	保育所運営事業

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	本町小規模保育施設の整備を行います。	待機児童の解消に向けて施設整備を行い定員の拡充を図ります。

事業の実施内容	8. 保育所等改修費等支援事業 (令和2年度からの繰越明許) 26,250千円	
	ひまわり保育園(小規模保育施設:定員19名) ※令和3年11月開園	
	敷地面積	204.31㎡
	建物構造	鉄筋コンクリート造一部軽量鉄骨造 2階建て
	延べ床面積	113.03㎡
		
	ひまわり保育園の外観	はじめてのクリスマス会(ひまわり保育園)

事業の成果	令和3年10月に完成し、同年11月に新規開園しました。当事業により19人の受入れが可能となり、待機児童解消に寄与することができました。	
-------	---	--

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,250	26,250	23,333	2,187			730

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	保育所等整備交付金事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	本町認可保育施設の整備を行います。	南風原町子ども・子育て支援事業計画に沿った施設整備による定員の拡充で待機児童の解消を図ります。

事業内容	保育所等整備交付金事業																		
	やまがわ保育園増設 (定員77人→107人)		65,431千円																
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>既存</th> <th>R3増築分</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷地面積</td> <td>1057.99m²</td> <td>0m²</td> <td>1057.99m²</td> </tr> <tr> <td>建物構造</td> <td colspan="3">鉄筋コンクリート造 2階建て</td> </tr> <tr> <td>延べ床面積</td> <td>605.71m²</td> <td>388.82m²</td> <td>994.53m²</td> </tr> </tbody> </table>				既存	R3増築分	計	敷地面積	1057.99m ²	0m ²	1057.99m ²	建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建て			延べ床面積	605.71m ²	388.82m ²	994.53m ²
		既存	R3増築分	計															
敷地面積	1057.99m ²	0m ²	1057.99m ²																
建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建て																		
延べ床面積	605.71m ²	388.82m ²	994.53m ²																
	<ul style="list-style-type: none"> 増設による定員増分は令和4年4月受入開始 対象経費の負担割合：6/8国、1/8町、1/8施設 																		
	 																		

事業の成果	令和4年3月に完成し、同年4月に増築分における児童受入れを開始しました。当事業により30人の定員増となり待機児童解消に寄与することができました。		
-------	--	--	--

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	65,431	65,431	56,084	1,367			7,980

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認可外保育園事業・町単独事業			予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028			科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち			目	目	児童福祉総務費	01
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	町内の認可外保育施設及び町外の認可外保育施設を利用する町内児童			認可外保育施設の保育の充実と利用児童の福祉向上を図ります。			
事業の実施内容	<p>1. 認可外保育園運営補助金(一般援護費) 1,126千円</p> <p>町内認可外保育施設に入所する児童の福祉の向上を図るため、町内児童の処遇に要する経費として1人あたり月1,500円を補助します。</p> <p>※ 令和3年度は認可外保育施設3園(なでしこ学園、さくら保育園、なないろ乳幼児園)へ補助金を交付しました。</p>						
	<p>2. 保育園及び園児の傷害保険補助(特別援護費) 10千円</p> <p>保育中の園児に事故があった場合に対応するため、町内認可外保育施設でかけている傷害保険の保険料分を1人あたり800円補助します。</p> <p>※ 令和3年度は認可外保育施設(さくら保育園)へ補助金を交付しました。</p>						
	<p>3. 保育園児の歯科検診料補助(特別援護費) 35千円</p> <p>町内認可外保育施設に入所する児童のうち、町内に住所を有する児童の歯科検診料を1人あたり750円補助します。</p> <p>※ 令和3年度は認可外保育施設2園(さくら保育園、なないろ乳幼児園)へ補助金を交付しました。</p>						
	<p>4. 町外認可外保育園に入所する町内在住児童への補助 168千円</p> <p>園児1人あたり月1,500円の補助をします。</p> <p>※ 令和3年度は年2回の申請受付にて延べ22人の児童へ補助金を交付しました。</p>						
事業の成果	入所する児童の処遇に要する経費及び保険料等を補助することで、認可外保育園の運営を助長し福祉の向上を図ることができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	1,473	1,339	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,069				270

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認可外保育園事業・補助事業		予	会計	一般会計	01																									
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費 03																									
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02																									
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	児童福祉総務費	01																									
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																												
	町内の認可外保育施設		認可外保育施設入所児童の健康診断費等の補助と施設による保育材料費、施設の改修費等の補助を行い、入所児童の処遇改善と保育の質の向上を図ります。																												
事業内容	<p>1. 南風原町認可外保育事業補助金 319千円</p> <p>認可外保育施設へ入所する児童及び勤務する職員の健康管理に要する経費や給食費等を当該施設に対し補助します。令和3年度は、認可外保育施設3園(なでしこ学園、さくら保育園、なないろ乳幼児園)に補助金を交付しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種目</th> <th>基準額</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">健康診断費</td> <td>内科検診 1,000円×児童数×2回以内</td> <td rowspan="2">入所児童</td> </tr> <tr> <td>歯科検診 750円×児童数×1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">給食費</td> <td>給食費(1)</td> <td rowspan="4">入所児童</td> </tr> <tr> <td>0歳児 50円×児童数×24日×12月</td> </tr> <tr> <td>1~5歳児 156円×児童数×24日×12月</td> </tr> <tr> <td>給食費(2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0歳児 87円×児童数×24日×12月</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1~5歳児 231円×児童数×24日×12月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賠償責任保険料</td> <td>300円(児童1人あたり)×1回</td> <td>入所児童</td> </tr> <tr> <td>調理員検便費</td> <td>1,500円(調理員1人あたり)×実施月数</td> <td>調理員</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 認可外保育園研修事業補助金 394千円</p> <p>沖縄県が実施する保育に関する研修を受講した認可外保育施設に対し、保育材料等を購入する経費の一部を補助します。令和3年度は、2園の認可外保育施設(さくら保育園、なないろ乳幼児園)に補助金を交付しました。</p>						種目	基準額	対象	健康診断費	内科検診 1,000円×児童数×2回以内	入所児童	歯科検診 750円×児童数×1回	給食費	給食費(1)	入所児童	0歳児 50円×児童数×24日×12月	1~5歳児 156円×児童数×24日×12月	給食費(2)		0歳児 87円×児童数×24日×12月			1~5歳児 231円×児童数×24日×12月		賠償責任保険料	300円(児童1人あたり)×1回	入所児童	調理員検便費	1,500円(調理員1人あたり)×実施月数	調理員
	種目	基準額	対象																												
健康診断費	内科検診 1,000円×児童数×2回以内	入所児童																													
	歯科検診 750円×児童数×1回																														
給食費	給食費(1)	入所児童																													
	0歳児 50円×児童数×24日×12月																														
	1~5歳児 156円×児童数×24日×12月																														
	給食費(2)																														
	0歳児 87円×児童数×24日×12月																														
	1~5歳児 231円×児童数×24日×12月																														
賠償責任保険料	300円(児童1人あたり)×1回	入所児童																													
調理員検便費	1,500円(調理員1人あたり)×実施月数	調理員																													
事業の成果	入所児童の健康診断費や賠償責任保険費等を支給することで、児童の処遇改善へとつなげることができました。また、保育施設職員の研修参加や保育材料購入、修繕の補助を行うことで、保育施設運営の助長および保育の質向上につなげることができました。																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
	808	713	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																								
				659			54																								

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	母子父子家庭医療費助成事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	目	児童福祉総務費	01

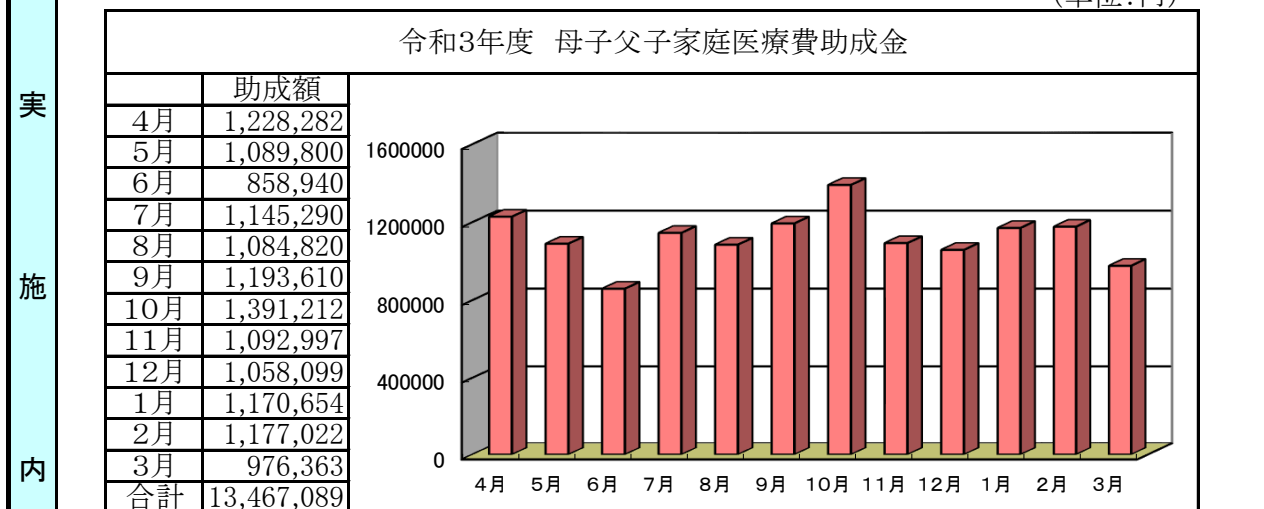
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	母子家庭の母と児童 父子家庭の父と児童 養育者が養育する、父母のいない児童	母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の概要	令和3年度 母子及び父子家庭等受給者数調							
	区分	母子家庭		父子家庭		養育者家庭	計	
		母	児童	父	児童	児童	父母	児童
	国保分	175	318	22	35	6	197	359
	社保分	376	624	38	57	2	414	683
	合計	551	942	60	92	8	611	1042

【令和3年度 助成実績】

◆ 母子父子家庭医療費助成金

扶助費決算額: 13,468 千円
(単位:円)



* 通院の場合、1月1診療機関につき1,000円(一部負担金)を控除した額が助成となります。
【医科・歯科別総合病院においては、各診療科ごとに1,000円を控除した額を助成致します。】

* さらに、上記1,000円(一部負担金)は、平成26年度よりこども医療費にて負担しております。

事業の成果
雇用状況や、経済基盤の不安定な母子父子家庭の親と子、養育者家庭の子に対し、医療保険各法適用後の自己負担額(通院分・入院分・調剤薬局も含む)から一部負担金を控除した額と入院時食事療養費の1/2を助成することにより、経済的な負担軽減を図りました。また、平成30年1月受診分より自動償還方式を導入することにより、手続の簡略化を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	14,949	13,468	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				6,733			6,735

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	子ども医療費助成事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 子ども課	課長名	儀間	算	款	衛生費	04
連絡先	889-7028		科	項	保健衛生費	01	
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	目	保健衛生総務費	01	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	南風原町に住所を有する0歳～中学卒業(3月31日)までの子ども	子どもの医療費の一部を助成することにより、健康の増進を図り、子どもの健やかな成長に寄与することを目的とします。

【令和3年度 子ども医療費助成実績】

◆ 扶助費決算額:205,967千円

単位:円

令和3年度 子ども医療費助成				
	助成対象者数 (人)	助成額(円)		
		償還分払分	現物給付分	助成額合計
4月	8,270	481,057	14,904,401	15,385,458
5月	8,321	295,116	17,496,383	17,791,499
6月	8,359	306,612	17,193,087	17,499,699
7月	8,381	367,454	16,735,356	17,102,810
8月	8,404	414,166	16,797,157	17,211,323
9月	8,289	459,919	17,647,827	18,107,746
10月	8,494	341,808	17,041,130	17,382,938
11月	8,528	643,534	14,446,535	15,090,069
12月	8,577	424,152	17,390,973	17,815,125
1月	8,614	432,713	18,037,877	18,470,590
2月	8,645	223,151	17,811,499	18,034,650
3月	8,679	303,448	14,439,439	14,742,887
	合計	4,693,130	199,941,664	204,634,794

* 平成29年1月診療分より現物給付方式(窓口無料化)を導入しました。



- ◆ 印刷製本費(南風原町子ども医療費助成金受給資格者証) 決算額: 15千円
- ◆ 手数料(自動償還及び現物給付の実施に伴う事務手数料) 決算額: 4,998千円
- ◆ 委託料(医療費助成システム改修費) 決算額: 475千円
- ◆ 償還金、利子及び割引料(県補助金超過交付償還金) 決算額: 24千円

医療保険各法適用後の自己負担額(通院分・入院分・調剤薬局も含む)の全額を助成することにより、子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、子どもの健全な育成と子育て世代への負担軽減に役立っています。また、平成29年1月に導入した現物給付方式(窓口無料化)により、より一層、安心して子育てができる環境を整えることができました。同時に、医療費を窓口で支払うことが困難な為に受診を控えていた子どもも、他の子どもと同様に医療を受けることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	218,609	211,479		61,255		150,224

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	子供の貧困緊急対策事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02	
目 標	ちむぐるでどもにつくる福祉と健康のまち		目	目	児童福祉総務費	01	

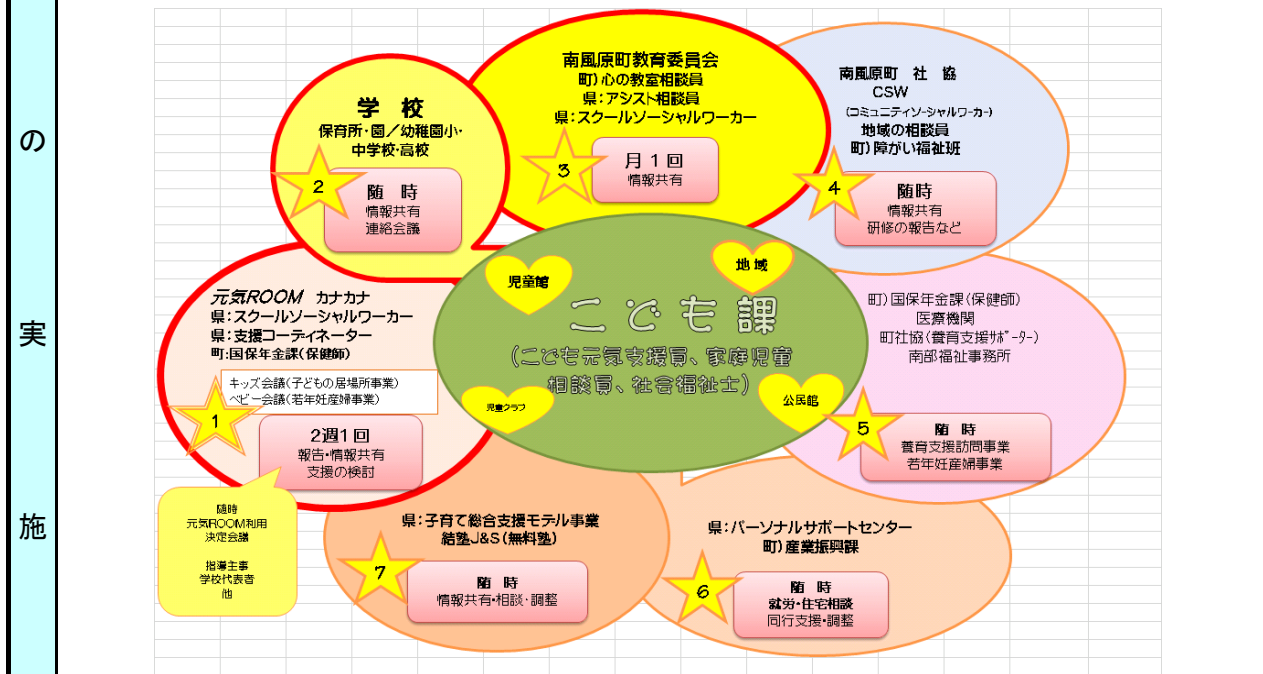
事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	社会的孤立(貧困)家庭の子どもとその世帯	社会的孤立(貧困)家庭の子どもとその世帯の福祉の向上と、孤立(貧困)連鎖の打破に努めます。

事業の概要

- ・子どもの貧困対策支援員配置事業
 子どもの貧困対策支援員(子ども元気支援員)が地域に出向いたり関係機関からの情報を受け子どもの孤立(貧困)の現状を把握し、学校や学習支援施設、子どもの居場所づくりを行う事業所等の関係機関との情報共有・連携を図り支援を行っています。
 また、町保健師等からの情報をうけ連携し若年妊産婦の現状把握、若年妊産婦居場所へのつなぎ、居場所事業所と情報共有や連携を図り必要な行政サービスへつなぐ等の支援を行っています。

事業費

- ・子ども元気支援員(3人)(報酬、手当、旅費、共済費) 8,222千円
- ・庁費(需用費、役務費、賃借料) 451千円



実施内容

- ・子どもの居場所、若年妊産婦の居場所の運営支援事業 33,240千円
 元気ROOM(子どもの居場所)、ママ笑みROOM(若年妊産婦の居場所)において必要な支援を提供

内容

- ①生活支援 ④食事支援(提供)
- ②学習支援 ⑤保護者の支援(養育支援)
- ③文化的活動支援 ⑥若年妊産婦等支援

成果

- 支援が必要な子どもを把握し元気ROOM等へ繋げることができました。また、元気ROOMを利用することで衛生の保持、基礎学習、食の確保等を支援し福祉の向上が図られました。
- 元気ROOMで生活支援をすることで心を開いてくれた子ども達も多く、その支援により不登校の未然防止につながりました。
- 保護者と信頼関係を築き養育支援をすることで、生活環境の改善や行政サービスへつなぐことができました。
- これまでの子ども支援に加え、令和元年度から新たに若年妊産婦等に心の安まる居場所を提供し安心して出産・子育てができるよう専門的知識を持った助産師等と一緒に包括的に支援をすることで不安や孤立を解消し必要な行政サービスへつなぐことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	42,624	41,913	41,040				873

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	病児保育事業		予	会計	一般会計	01								
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費 03								
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02								
目 標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち		目	目	保育所運営事業	02								
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)											
	町在住のおおむね生後6ヶ月から小学3年生までの児童で、病気治療中又は、回復期にある病児保育を必要とする児童		児童が病気の治療中又は回復期にあり、集団保育および保護者による保育が困難な場合に、適切な処遇が確保される施設で一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図る。											
事業の概要	平成27年度より、町内の医療機関へ委託して病児保育事業を実施しています。													
	○実施施設 医療法人わらべの会 わんぱくクリニック 南風原町字津嘉山1490番地 メディカルプラザつかざん2F													
	○利用時間													
	月～土	午前8時45分から午後5時30分まで(第5土曜日は午後1時まで)												
休業日	日曜日・祝祭日・(第5土曜日は午後1時から休業)													
内容	○利用料金													
	区分	生活保護世帯	生活保護世帯以外											
	1日利用料	0円	1,500円											
半日利用料	1,000円													
実施内容	1. 病児保育事業委託料 5,503千円 (内訳) (1)基本額 4,503,000 円 (2)利用人数に応じた委託料(50～99人) 1,000,000 円 (3)利用料免除額(生保による被保護者) 0 円													
	2. 病児保育施設年度別利用児童数													
内容	年度	実績											合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	H28	38	23	24	30	39	21	21	11	12	4	6	28	257
	H29	9	23	43	36	21	25	15	33	35	36	21	27	324
	H30	18	45	28	20	52	35	41	31	43	36	40	32	421
	R1	33	33	67	60	45	62	39	40	21	32	46	58	536
	R2	15	0	28	23	4	22	28	30	35	12	0	11	208
R3	0	0	0	6	4	1	19	19	17	1	0	0	67	
内容	3. 新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金 300千円													
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、消耗品(マスク・アルコール消毒液等)や備品等(体温計・空気清浄機等)の購入費用の補助を行いました。													
事業の成果	保護者が就労している場合等に、子どもが病気の治療中又は回復期にある児童を、安心して預ける事のできる病児保育施設に一時的に預ける事で、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	7,303	5,803	1,934	1,934			1,935							

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	児童館運営事業・単独		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02	
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	児童厚生施設費	03	

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内児童館を利用する幼児から高校生	児童に健全な遊びの場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とします。

【児童館活動の内容】

- ・クラブ活動
(一定期間継続して行う児童の活動で、多種多様に各児童館ごとに実施)
- ・子ども教室
(定期的に各館で開かれる手芸や工作、クッキング教室等)
- ・4児童館合同行事 ※R3年度は新型コロナウイルスの影響により未開催
(芸術鑑賞会、野外活動、児童館まつり等)

【整備関係】

- ・兼城児童館、本部児童館の防水塗装工事


単位:千円

主な経費	決算額
児童厚生員報酬(12名)	16,760
職員手当等(12名)	3,498
クラブ活動等に伴う報償費	282
消耗品費	634
光熱水費	848
その他(修繕・工事含む)	18,280
合計	40,302

年間利用者数	
北丘児童館	8,304 人
兼城児童館	9,425 人
本部児童館	11,326 人
津嘉山児童館	8,610 人
合計	37,665 人

実施内容

○津嘉山児童館 ダブルタッチ体験



○北丘児童館 サイエンス教室



内容の成果

子どもの居場所確保・活動の拠点として、行事の種類が増え、クラブ活動や子ども教室も盛んに行われたことで、仲間づくりや健康増進が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	41,403	40,302					40,302

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	学童保育事業・補助		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	労働等により昼間保護者のいない家庭の小学校児童を預かる学童クラブ	学童クラブに補助金を交付することにより、労働等により昼間保護者のいない家庭における児童の健全育成を図ることを目的とします。

- 学童クラブ支援員等資質向上研修委託料 829千円
資質向上研修を行うことで放課後児童支援員等の専門性の向上や学童クラブ間の格差を解消し、平準化を図ることを目的としております。
- 学童保育事業・補助 291,050千円
本町にある下記の22箇所(25支援)の学童クラブへそれぞれ補助金を支出しました。

学童クラブ別児童数及び補助金一覧 (単位:千円)

学童クラブ名	学童クラブ補助金(運営費)	障害児受入強化推進事業	支援員等処遇改善事業	送迎支援事業	運営支援事業(家賃補助)	環境改善事業	新型コロナウイルス特例措置
みやび学童クラブ	6,152	0	1,678	0	0	0	2,834
よなは学童クラブ	8,454	0	1,678	507	0	0	3,410
よなは第2学童クラブ	8,454	0	1,678	507	600	0	3,668
北丘学童クラブ	5,851	0	1,678	0	0	0	2,554
第2北丘学童クラブ	5,401	0	1,678	0	450	0	2,111
学童クラブVI-VA	5,519	0	1,678	0	0	0	1,395
学童クラブVI-VAぶらす	5,393	0	1,678	0	0	0	1,190
こもれび学童クラブ	6,237	0	1,678	0	600	0	2,507
いろは児童クラブ	5,982	0	1,678	0	0	0	1,490
みつば児童クラブ	7,912	0	1,678	0	0	0	2,055
キッズクラブ カナカナ	7,530	0	1,678	0	0	0	2,461
キッズクラブ リンク	7,737	0	1,678	0	480	0	2,718
ドルチェ学童クラブ	7,999	0	1,678	0	0	0	2,865
第二ドルチェ学童クラブ	7,367	0	1,678	0	0	0	1,511
正道館放課後児童クラブ	7,929	0	1,678		319	1,101	2,809
いこい学童クラブ	7,732	1,956	1,678	0	600	0	3,068
いこい第二学童クラブ	7,358	0	1,678	0	252	0	2,045
翔南学童クラブ	7,794	0	1,678	0	0	0	2,929
みつわ学童クラブ	8,170	1,956	1,678	0	600	0	943
学童クラブわんぱく家	6,051	0	1,678	0	0	0	1,852
学童クラブうーまく家	8,033	0	1,678	0	600	0	1,927
竹の子学童クラブ	5,860	0	1,678	0	0	0	1,867
第二竹の子学童クラブ	6,984	0	3,158	0	420	0	2,203
津嘉山学童クラブ	7,920	0	1,678	0	0	0	2,770
津嘉山うむさ学童クラブ	8,077	0	1,678	0	600	0	2,994
合計25支援	177,896	3,912	43,430	1,014	5,521	1,101	58,176
					合計		291,050

※ 障害児受入強化推進事業
3人以上の障害児の受け入れを行う場合に対象になります。

昼間保護者が家にいない児童が、集団で安心して過ごすことができる場を提供することができ、その健全な育成が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	310,409	291,879	97,430	97,016			97,433

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	放課後児童の居場所づくり支援事業			予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028			科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち			目	目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	建物を賃貸している学童クラブ、生活保護世帯及びひとり親世帯の児童の保育料を減免した学童クラブ	家賃補助をすることで保育料を軽減し、また生活保護世帯及びひとり親世帯の児童の利用料を一部補助することにより、子どもの居場所である学童クラブを利用しやすくします。

・放課後児童の居場所づくり支援事業 11,504千円
 内訳：家賃補助 6,648千円 保育料減免補助 4,856千円

施設名	家賃補助		保育料減免補助	
	補助金額(円)	対象児童数(人)	補助金額(円)	
みやび学童クラブ	600,000	0	0	
よなほ学童クラブ	600,000	5	250,000	
よなほ第2学童クラブ	0	4	130,000	
北丘学童クラブ	600,000	2	70,000	
第2北丘学童クラブ	0	4	100,000	
学童クラブVI-VA	0	6	290,000	
学童クラブVI-VAふらす	0	1	60,000	
こもれび学童	0	2	120,000	
いろは児童クラブ	420,000	2	120,000	
みつば児童クラブ	468,000	0	0	
キッズクラブカナカナ	600,000	2	115,000	
キッズクラブリンク	0	5	300,000	
ドルチェ学童クラブ	600,000	4	180,000	
第二ドルチェ学童クラブ	600,000	1	31,000	
正道館放課後児童クラブ	0	5	280,000	
いこい学童クラブ	0	8	431,000	
いこい第2学童クラブ	0	3	124,000	
翔南学童クラブ	600,000	6	240,000	
みつわ学童クラブ	0	7	370,000	
学童クラブわんぱく家	600,000	3	125,000	
学童クラブうーまく家	0	12	545,000	
竹の子学童クラブ	540,000	4	240,000	
第二竹の子学童クラブ	0	4	195,000	
津嘉山学童クラブ	420,000	5	240,000	
津嘉山うむさ学童クラブ	0	5	300,000	
	6,648,000	100	4,856,000	

事業の成果
 学童保育料減免補助については、ひとり親家庭及び生活保護世帯を対象として実施しました。その結果、対象となる学童クラブ利用者の保育料が引き下げられ利用者の負担軽減につながり、これまで経済的な理由で学童クラブの利用が困難だった世帯も、利用しやすくなりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,377	11,504		9,203			2,301

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	ファミリーサポートセンター事業			予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028			科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち			目	目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	地域の子育て家庭	子育てのお手伝いを必要としている人(おねがい会員)と子育てのお手伝いをしたい人(サポート会員)とを結びつける会員制の相互援助活動を行います。

事業	○ファミリーサポートセンター事業 4,888千円	
	【センターの業務】	
	①会員の募集、登録に関すること ②相互援助活動の調整 ③会員を対象に相互援助活動に必要な知識を習得するための講習会の開催 ④会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催 ⑤子育て支援に関する関係機関との連絡調整に関する業務 ⑥広報活動	
	【アドバイザー・登録会員状況】	

単位:人

アドバイザーの人数	援助を行いたい会員 (提供会員)	提供を受けたい会員 (依頼会員)	両方会員	合計
2	104	361	64	529

【活動実績】

件数

保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	子どもの習い事等の場合の援助	保育所・学校等休み時の援助	合計
18	113	19	2	86	3	
保育所等施設入所前の援助	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	保護者等の求職活動中の援助	保護者等の外出の場合の援助	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	その他	
0	10	0	22	8	126	407

○新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金 155千円
 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、消耗品(マスク・アルコール消毒液等)や備品等(体温計・空気清浄機等)の購入費用の補助を行いました。

事業の成果	急な用事等により一時的に子どもを預かって欲しいけれど頼れる人がいない世帯の子育て支援のために、育児について助け合う相互援助活動を通して、子育て世帯の負担を緩和することが出来ました。
-------	--

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	5,341	5,043	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,680	1,680			1,683

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	地域子育て支援拠点事業			予	会計	一般会計	01																																																																					
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03																																																																					
連絡先	889-7028			科	項	児童福祉費	02																																																																					
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち			目	目	保育所運営事業	02																																																																					
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)																																																																								
	地域の子育て家庭			子育て家庭が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供・助言、子育てサークルなどへの支援や地域の保育需要に応じた支援を行います。																																																																								
事業の実施内容	<p>主な経費</p> <p>○宮平保育所 (職員人件費、臨時職員賃金、消耗品費、備品購入費等) 8,623千円</p> <p>○認可保育園子育て支援拠点事業補助金 16,278千円 新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助 278千円</p> <p>・ 絵本の読み聞かせや栄養指導、手作りおもちゃ作り、クッキング等、子育て親子のニーズや要望を取り入れて毎月1回行います。</p> <p>・ 広報活動として「たんぼぼ広場だより」を発刊しました。</p> <p>・ 子育て及び子育て支援に関する講習等を実施しました。</p> <p>・ 公民館子育てサロン、児童館幼児クラブとの親子交流、認可外保育園とのリミック交流・支援活動の実施・地域の公園での親子交流の実施。</p> <p>※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての交流保育が中止になったり、いくつかのイベントが中止になったりと、感染拡大防止を図りながらの活動となりました。利用者の中には新型コロナウイルスの影響による生活の変化にストレスを抱える方もいますが、支援センターはコロナ禍の疲労と孤立感を解消するのにも、重要な役割を果たしました。</p>																																																																											
	<p>子育て支援センター親子利用者状況 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保育園名</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮平保育所</td> <td>175</td> <td>95</td> <td>65</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>314</td> <td>329</td> <td>359</td> <td>131</td> <td>97</td> <td>166</td> <td>1,731</td> </tr> <tr> <td>津嘉山保育園</td> <td>178</td> <td>191</td> <td>75</td> <td>141</td> <td>68</td> <td>109</td> <td>161</td> <td>195</td> <td>238</td> <td>16</td> <td>184</td> <td>270</td> <td>1,826</td> </tr> <tr> <td>かねぐすく保育園</td> <td>156</td> <td>107</td> <td>156</td> <td>183</td> <td>189</td> <td>224</td> <td>255</td> <td>245</td> <td>201</td> <td>130</td> <td>253</td> <td>263</td> <td>2,362</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>509</td> <td>393</td> <td>296</td> <td>324</td> <td>257</td> <td>333</td> <td>730</td> <td>769</td> <td>798</td> <td>277</td> <td>534</td> <td>699</td> <td>5,919</td> </tr> </tbody> </table>							保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	宮平保育所	175	95	65	/	/	/	314	329	359	131	97	166	1,731	津嘉山保育園	178	191	75	141	68	109	161	195	238	16	184	270	1,826	かねぐすく保育園	156	107	156	183	189	224	255	245	201	130	253	263	2,362	合 計	509	393	296	324	257	333	730	769	798	277	534	699
保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																															
宮平保育所	175	95	65	/	/	/	314	329	359	131	97	166	1,731																																																															
津嘉山保育園	178	191	75	141	68	109	161	195	238	16	184	270	1,826																																																															
かねぐすく保育園	156	107	156	183	189	224	255	245	201	130	253	263	2,362																																																															
合 計	509	393	296	324	257	333	730	769	798	277	534	699	5,919																																																															
事業の成果	<p>実施する保育園に対し、補助金を助成することにより、子育て家庭等に対する育児不安などの相談及び指導、子育てサークル等への支援並びに地域の保育需要に応じ、地域の各保育所間の連携を図りながら子育て家庭への支援を図ることができました。</p>																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																									
	25,179	25,179	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																					
			8,393	8,393			8,393																																																																					

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	児童手当事業	予算科目	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	款	民生費
連絡先	889-7028			項	児童福祉費
目標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち			目	児童福祉総務費
					01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(中学修了前までの児童)を養育している方に支給されます。	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的としています。

事業の概要	1. 児童手当の種類などについて																																																							
	<p>児童手当の支給対象は、15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している方で、手当を受給するには、一定の所得制限があります。支給額は月額で3歳未満の児童は一律15,000円、3歳以上小学校修了前の児童は10,000円(※第3子以降は15,000円)、中学生は一律10,000円となっています。また、所得制限限度額以上の場合は特例給付として月額一律5,000円を支給しています。なお、「被用者」とはサラリーマンなど厚生年金に加入している方のことで、「非被用者」とは自営業者など国民年金に加入している方のことです。</p> <p>※「第3子以降」とは、高校卒業まで(18歳到達後最初の3月31日まで)の養育している児童のうち、3番目以降をいいます。</p>																																																							
実施内容	2. 児童手当の支給状況 決算額 945,095千円																																																							
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>手当月額(円)</th> <th>基礎となる延児童数(人)</th> <th>支給額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">児童手当</td> <td rowspan="4">被用者</td> <td>0歳～3歳未満</td> <td>15,000</td> <td>13,270</td> <td rowspan="4">752,230,000</td> </tr> <tr> <td>3歳～小学校修了前</td> <td>10,000</td> <td>30,968</td> </tr> <tr> <td>小学校修了後</td> <td>15,000</td> <td>8,908</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,000</td> <td>10,988</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非被用者</td> <td>0歳～3歳未満</td> <td>15,000</td> <td>2,485</td> <td rowspan="4">180,860,000</td> </tr> <tr> <td>3歳～小学校修了前</td> <td>10,000</td> <td>7,728</td> </tr> <tr> <td>小学校修了後</td> <td>15,000</td> <td>2,471</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,000</td> <td>2,924</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特例給付</td> <td>被用者</td> <td>5,000</td> <td>2,175</td> <td rowspan="3">11,880,000</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>5,000</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>2,376</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>過年度調整額</td> <td>125,000</td> <td>125,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>合計</td> <td></td> <td>945,095,000</td> </tr> </tbody> </table>		区分		手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額(円)	児童手当	被用者	0歳～3歳未満	15,000	13,270	752,230,000	3歳～小学校修了前	10,000	30,968	小学校修了後	15,000	8,908	計	10,000	10,988	非被用者	0歳～3歳未満	15,000	2,485	180,860,000	3歳～小学校修了前	10,000	7,728	小学校修了後	15,000	2,471	計	10,000	2,924	特例給付	被用者	5,000	2,175	11,880,000	非被用者	5,000	201	計		2,376			過年度調整額	125,000	125,000			合計	
区分		手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額(円)																																																				
児童手当	被用者	0歳～3歳未満	15,000	13,270	752,230,000																																																			
		3歳～小学校修了前	10,000	30,968																																																				
		小学校修了後	15,000	8,908																																																				
		計	10,000	10,988																																																				
	非被用者	0歳～3歳未満	15,000	2,485	180,860,000																																																			
		3歳～小学校修了前	10,000	7,728																																																				
小学校修了後		15,000	2,471																																																					
計		10,000	2,924																																																					
特例給付	被用者	5,000	2,175	11,880,000																																																				
	非被用者	5,000	201																																																					
	計		2,376																																																					
		過年度調整額	125,000	125,000																																																				
		合計		945,095,000																																																				
内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 需用費 181千円 ◆ 役務費 1,247千円 ◆ 委託料 1,003千円 </div>																																																							

事業の成果
 子育てや生活支援のために手当を給付することにより、家庭の経済的な安定につながりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	947,828	947,526	661,678	141,955			143,893

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認定子ども園事業・補助		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 子ども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費
連絡先	889-7028		科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐるでつくる福祉と健康のまち		目	目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	認定子ども園(施設、在園児、保護者)	小学校就学前の児童を受け入れ、幼児教育・保育を一体的に行っていきます。

事業の実施内容	1. 入所児童数(令和4年3月1日現在) ※町内在住者のみ 単位:人						
	施設名		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	開邦幼稚園	1号認定	0	8	9	8	25
		2号認定	13	18	22	18	58
	町内施設 計		13	26	31	26	83
	1号認定	童夢認定子ども園	0	1	0	0	1
		善隣幼稚園	0	3	1	1	5
		津山幼稚園	0	2	1	0	3
		かぐら子ども園	0	1	0	0	1
		米須子ども園	0	0	0	1	1
		あおぞら子ども園	0	0	2	1	3
		識名さつき認定子ども園	0	1	1	0	2
		第2愛心子ども園	0	0	2	0	2
		愛心子ども園	0	0	2	0	2
		ポプラ子ども園	0	0	1	0	1
わかば認定子ども園	0	1	0	0	1		
2号認定	愛心子ども園	0	0	0	1	1	
広域入所 計		0	9	10	4	23	
合計		13	35	41	30	106	

○認定子ども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。令和元年度より町認可施設として1園が運営を行っています。

事業の実施内容	2. 運営費支弁額(令和3年度実績) 単位:千円	
	施設名	運営費
	開邦幼稚園(1号)	13,827
	開邦幼稚園(2号)	66,453
	町内認定子ども園運営費(小計)	80,280
	広域入所(1号)	38,955
	広域入所(2号)	2,127
	町外認定子ども園運営費(小計)	41,082
	合計	121,362

認定子ども園においては幼児教育・保育を一体的に取り組むことができ、また、保育の必要理由の有無に関わらず子どもを受け入れることにより、集団活動や異年齢交流も確保できた。

事業の成果	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		125,435	121,363	61,627	36,692	0	0	23,044

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	正規雇用化促進事業			予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	款	民生費	03
連絡先	889-7028			科	項	児童福祉費	02
目 標	ちむぐるでどもにつくる福祉と健康のまち			目	目	保育所運営事業	02
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)			
	町内の認可保育園及び地域型保育施設、認定こども園			待機児童解消に必要な保育士を確保するために、保育士の正規雇用化を図る事業者を支援することにより、保育士の新規確保及び離職防止を図ります。			
事業の内容	<p>○保育士正規雇用化促進事業補助金 4,687千円</p> <p>【事業の内容】</p> <p>保育士を非正規雇用から正規雇用へ転換、又は新規採用する保育士を正規雇用した認可保育園等へ、補助を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士を非正規雇用から正規雇用へ転換した場合:42千円×正規雇用月数 ・新規採用する保育士を正規雇用した場合:25千円×正規雇用月数 <p>※実施園6園(マイフレンズ保育園、明星保育園、よなは第2保育園、よいサマリヤ人保育園、くわの実保育園、たいようのおか保育園)</p>						
	実施内容		 <p>広い園庭でラジオ体操♪♪ (よなは第2保育園)</p>		 <p>クリスマス会 みんなでダンスをおどりま〜す (たいようのおか保育園)</p>		
事業の成果	保育士の正規雇用化を図る事業者を支援することにより、保育士の新規確保及び離職防止を図り、待機児童解消に必要な保育士を確保することが出来ました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,052	4,687		3,925			762

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	幼児教育・保育無償化事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 こども課	課長名	儀間 博嗣	算	民生費	03	
連絡先	889-7028		科	児童福祉費	02		
目 標	ちむぐるでつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02		
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	3歳児から5歳児までの子ども達の幼稚園・保育園・認定子ども園等の利用を無償化するとともに、0歳児から2歳児までの住民税非課税世帯の子ども達を対象として保育園等の費用を無償化する。		幼児教育・保育無償化事業を行うことにより、全ての子どもが健やかに成長するように支援し、良質かつ適切なものであることに加え、子どもの保護者の経済的負担の軽減をはかる。				
事業の実施内容	<p>■ 幼児教育・保育無償化事業</p> <p>生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や、子育てや教育にかかる利用負担の軽減を図る少子化対策の観点などから、3歳児クラスから5歳児クラスの子ども及び市町村民税非課税世帯の0歳児クラスから2歳児クラスの子どもを対象に幼児教育・保育の無償化を実施します。</p> <p><対象者></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3歳児クラスから5歳児クラスのすべての子ども ○ 満3歳で幼稚園や認定こども園(教育認定)へ入園した子ども ○ 0歳児クラスから2歳児クラスの市町村民税非課税世帯の子ども <p><対象範囲></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公立・認可保育所(園)・地域型保育施設・認定子ども園(2号認定)の 保育料:全額無償化 ○ 幼稚園(教育時間)の保育料 : 月額25,700円までの範囲で無償化 ○ 認可外保育施設等の保育料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 0歳児から2歳児クラス→月額42,000円までの範囲で無償化 ・ 3歳児から5歳児クラス→月額37,000円までの範囲で無償化 ○ 預かり保育利用料 : 月額11,300円までの範囲で無償化 (日額450円×利用日数の範囲で無償化) <p>■ 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会計年度任用職員報酬(期末手当・通勤手当含む) 3,929千円 ○ 通信運搬費等 154千円 ○ 子育てのための施設等利用給付費 68,973千円 <p>※ 国1/2 県1/4 町1/4 負担しています。</p>						
	事業の成果	<p>幼児教育や保育の無償化を行うことにより、子どもが健やかに成長するように支援し、子どもの保護者の経済的負担を軽減することができました。</p>					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	75,364	73,056	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			26,460	11,269			35,327

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	包括的支援事業		予	会計	一般会計	01																		
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	算	款	民生費	03																		
連絡先	889-3534		科	項	社会福祉費	01																		
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	目	老人福祉費	02																		
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)																					
	町内在住の高齢者と家族		地域包括支援センターに、社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師等の専門職を配置し、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために包括的な支援をします。																					
事業の概要	<p>地域包括支援センターは介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者及び家族からの相談や、高齢者の見守り、心身の状態に合わせた支援などを行う高齢者の総合的な相談支援の拠点です。</p> <p>1) 介護予防支援業務 ① 令和3年度予防給付対象者(要支援1・2) →241人 ② ①の方への予防給付ケアマネジメント実施者 →56人</p> <p>2) 総合相談支援業務 相談・支援件数 2,599件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>相談・支援件数(電話・来所・訪問)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 介護、他生活に関する事</td> <td>2,209</td> </tr> <tr> <td>2 介護保険に関する事</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>3 福祉制度・サービスに関する事</td> <td>305</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,599</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業 ① 地域ケア会議→福祉課題検討ケア会議では、「家族介護者の介護負担や支援について」「地域主体の地域ケアについて」を議題に、社協と高齢者福祉班、地域包括支援センター職員で話し合いを行いました。また、ケアマネジメント支援ケア会議を行い、ケアプランに対して理学療法士等多職種で自立支援に繋がる助言を行いました。(検討したプラン件数:18件、開催回数は7回)</p> <p>② 地域のケアマネージャーに対する支援 ・南風原町介護支援専門員連絡協議会の開催(定例会3回、役員会3回) ・支援困難な方への助言、関係機関調整</p> <p>4) 権利擁護業務</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>相談・支援件数</th> <th>相談対応件数</th> <th>新規相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待に関する事</td> <td>347</td> <td>12</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>成年後見制度に関する事 町長申立:3件 報酬助成:5件</p> <p>主な経費 : 人件費(社会福祉士等)19,567千円 委託料 11,519千円 使用料 2,028千円 その他 1,060千円</p>						内容	相談・支援件数(電話・来所・訪問)	1 介護、他生活に関する事	2,209	2 介護保険に関する事	85	3 福祉制度・サービスに関する事	305	計	2,599	内容	相談・支援件数	相談対応件数	新規相談件数	高齢者虐待に関する事	347	12	10
	内容	相談・支援件数(電話・来所・訪問)																						
1 介護、他生活に関する事	2,209																							
2 介護保険に関する事	85																							
3 福祉制度・サービスに関する事	305																							
計	2,599																							
内容	相談・支援件数	相談対応件数	新規相談件数																					
高齢者虐待に関する事	347	12	10																					
事業の成果	高齢者の様々な相談に関して、各関係機関と連絡調整し包括的に支援を実施しました。																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																	
	36,573	34,174				34,174	0																	

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	生活支援体制整備事業		予	会計	一般会計	01																																							
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費 03																																							
連絡先	889-3534		科	項	社会福祉費	01																																							
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	目	老人福祉費	02																																							
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)																																									
	町内在住の高齢者及び地域住民、民間企業、社会福祉法人等			生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、地域住民、ボランティア、民間企業、社会福祉法人等、多様な主体が関わり、地域における支え合いの体制作りを推進します。生活支援の担い手の養成や地域資源の開発、ネットワーク化などを行います。																																									
事業内容	1)生活支援コーディネーター業務 (町社会福祉協議会へ委託、2名配置) 主な経費:生活支援コーディネーター委託料 7,231千円																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">資源開発</td> <td>資源開発の情報収集</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>地域への働きかけ</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>関係機関への働きかけ</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>生活支援の担い手・サービス開発</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ネットワーク構築</td> <td>地域のネットワークづくり</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>サービス提供主体間の連携体制づくり</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">組みこみプログラムの実施</td> <td>個別ニーズとサービスのマッチング</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>社会資源の情報提供</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">その他</td> <td>協議体に関すること</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ニーズ把握</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>476</td> </tr> </tbody> </table>						活動内容	件数	資源開発	資源開発の情報収集	100	地域への働きかけ	37	関係機関への働きかけ	11	生活支援の担い手・サービス開発	13	計	161	ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	93	サービス提供主体間の連携体制づくり	27	計	120	組みこみプログラムの実施	個別ニーズとサービスのマッチング	36	社会資源の情報提供	30	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	9	計	75	その他	協議体に関すること	8	ニーズ把握	41	その他	71	計	120	合計
活動内容	件数																																												
資源開発	資源開発の情報収集	100																																											
	地域への働きかけ	37																																											
	関係機関への働きかけ	11																																											
	生活支援の担い手・サービス開発	13																																											
	計	161																																											
ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	93																																											
	サービス提供主体間の連携体制づくり	27																																											
	計	120																																											
組みこみプログラムの実施	個別ニーズとサービスのマッチング	36																																											
	社会資源の情報提供	30																																											
	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	9																																											
	計	75																																											
その他	協議体に関すること	8																																											
	ニーズ把握	41																																											
	その他	71																																											
計	120																																												
合計	476																																												
実施内容	<p>○福祉教育出前講座(津嘉山小・南風原小) 実施時期:令和4年4月～5月 対象者:南風原小・津嘉山小:4年生 内容:福祉とはどんなものか、ユニバーサルデザインがどんなものかの講話を行いました。併せて車椅子体験やアイマスク体験なども行っています。</p> <p>○体操スタンプカード活動 実施時期:令和3年5月～ 対象者:町内の高齢者(町内8自治体が参加) 内容:コロナ禍でフレイル予防のため自宅等で運動を行いスタンプをためて景品と交換できる事業です。</p> <p>○学生傾聴ボランティア 実施時期:令和3年4月～令和4年3月 対象者:町内の独居高齢者 内容:長期化するコロナ禍の中でミニデイ等が休止になり、外出機会が減少した高齢者の見守りが課題となっていました。そこで、県内大学に呼びかけて、話し相手になってくれる学生の傾聴ボランティアを募集、高齢者宅を訪問してもらいました。</p>																																												
	<p>2)生活支援体制整備事業 協議体 2年ぶりに開催し、参加した社会福祉法人や民間企業、自治会長や民生委員等に対し事業の説明や町の高齢者の状況を報告し、今後の連携を呼びかけ顔の見える関係作りに取り組みました。</p>																																												
	<p>事業の成果 コロナによって、できなかった事業活動もありましたが、協議体を開催することができ、「地域のことを地域の皆で話合っていく」ことができる関係づくりができました。</p>																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
	7,502	7,231	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 7,231	一般財源 0																																						

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	家族介護支援事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費	03
連絡先	889-4416		科	項	社会福祉費	01	
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	老人福祉費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	高齢者等を自宅で介護している家族		家族が介護技術や保健福祉制度、介護者自身の健康づくりについて学び、精神的・身体的負担の軽減を図ります。また、家族同士の交流や情報交換及びレクリエーション等を通して、介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ります。				
事業の実施内容	1) 家族介護者等支援事業 決算額 : 137千円		参加者				
	① ピクニック「ぬちまーす観光製塩ファクトリー～浜比嘉島」		11人				
	② 介護教室 1「コロナ禍における認知症予防フレイル」 ～高齢者が心身の健康を維持できるように～ 講師:南部医療センター認知症認定看護師 金城寿 氏		23人				
	③ 介護教室 2「自宅内のできる感染症予防対策」 ～感染症の正しい知識TP予防から 講師:南部徳州会感染管理特定認定看護師 外間武 氏		32人				
⑥ 介護教室 3「認知症予防の食事づくりのコツ」 ～実はポイントが・・・いっぱいあるんですよ!～ 講師:南風原町管理栄養士 具志堅志保 氏		24人					
⑨ 健康づくり教室 「パークゴルフ～お弁当会」		7人					
2) 老人福祉医療助成金支給事業 決算額 : 5,033千円 支給人数 : 254人 在宅や入院中の要介護高齢者に対し、健康保険等の保険外負担となっているオムツ代の助成をしました。							
3) 介護用品支給事業 決算額 : 275千円 支給人数 : 7人 在宅で高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することで、家族の負担を軽減し、要介護者の在宅生活の継続と向上を図りました。							
4) 南風原町介護者の会(にじの会)補助金 決算額 : 90千円 介護者間の連携を密にし、協力と助け合いでよりよい介護に繋げ、在宅で安心して介護ができることを目的に結成された「にじの会」へ補助金を交付することにより、家族介護者の介護負担や介護疲れを軽減し、要介護者の在宅生活の継続と福祉の向上に向けて支援しました。							
事業の成果	日頃の介護負担や介護疲れを軽減し、心身のリフレッシュを図りました。また介護用品やオムツ代等の経費を一部負担することで経済的負担を軽減し、在宅介護の福祉向上が図れました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,898	5,535				5,535	0





令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認知症施策推進事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費
連絡先	889-3534		科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	老人福祉費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内在住の高齢者と家族	認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行います。認知症理解や地域での見守りを広げるための活動を行っていきます。

事業の実施内容	<p>認知症地域支援推進員を配置し、個別訪問を中心に活動し、本人や家族に対して認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行っています。</p> <p>認知症の理解や地域での見守りを広げるため、認知症サポーター養成講座を開催しています。</p> <p>認知症初期集中支援チームにて、早期に医療・サービスにつなぐ支援を実施しました。</p> <p>・認知症地域支援推進員の主な仕事</p> <p>(1) 認知症の人やその家族を支援する相談業務</p> <p>(2) 医療機関や介護サービス地域の支援機関をつなぐコーディネーター</p> <p>(3) 認知症に関する理解・知識・制度等の住民への周知</p> <p>(4) 認知症サポーター養成講座の実施</p> <p>(5) 認知症に関する社会資源等の情報収集及び提供</p> <p>・活動実績</p> <p>対応件数(延べ):987件</p> <p>認知症サポーター養成講座 開催回数:3回</p> <p>認知症初期集中支援チーム チーム員会議4回</p> <p>主な経費 看護師嘱託員報酬等: 5,273千円 初期集中支援チーム委託料: 56千円</p>	
		

事業の成果	<p>認知症本人・家族への個別相談を中心に活動しました。</p> <p>認知症サポーター養成講座を町内3小学校で実施し、認知症に関する理解を拓くことができました。</p>
-------	---

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,924	5,329				5,329	0


令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	在宅医療・介護連携推進事業		予算科目	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	款	民生費	03	
連絡先	889-3534			項	社会福祉費	01	
目 標	ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち			目	老人福祉費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	町内在住の高齢者と家族		高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続するため、医療と介護の連携を推進します。				
事業の実施内容	<p>医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、在宅医療に関わる機関と介護サービス事業者など、関係者間の連携推進を目的とした事業です。</p> <p>本町は南部地区市町と合同で、南部地区医師会へ事業委託を行っています。</p> <p>1. 在宅医療・介護連携に関して、必要な情報の収集、整理及び活用、課題の把握、施策の企画及び立案、医療・介護関係者に対する周知</p> <p>医療・介護検索ツールを「医療・介護おたすけマップ」にリニューアルし、資源の情報提供を行いました。また、協議会(2回)担当者連絡会(6回)を開催し、地域の課題について検討しました。</p> <p>2. 地域の医療・介護関係者からの在宅医療介護連携に関する相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他必要な援助</p> <p>コーディネーターの配置による相談窓口を設置し、医療・介護関係者の相談支援を実施しました。</p> <p>3. 地域住民への普及啓発</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、計画していた市民講座は開催できませんでした。</p> <p>4. 医療・介護関係者への支援</p> <p>救急連絡シートの改善、食支援、意思決定支援、認知症、入退院支援、看取り等に関する研修を開催し、関係者の支援を実施しました。</p> <p>主な経費 委託料 1,882千円</p>						
	事業の成果	南部地区医師会と協働で実施し、医療・介護の連携、入退院連携の推進を図りました。					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,003	1,882				1,882	0

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	介護予防事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費	03
連絡先	889-4416		科	項	社会福祉費	01	
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	老人福祉費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	町内在住の高齢者		地域における65歳以上の高齢者ができる限り要介護状態に陥る事なく、健康でいきいきとした生活が送れるよう、介護予防事業の充実を図ります。				
事業の内容	<p>1. 一般高齢介護予防通所事業(地域型)</p> <p>地域の公民館を拠点に、地域ボランティアの協力のもと、健康チェックやレクリエーション等を通して生きがいと健康づくり、介護予防、交流の場の提供、社会参加の促進と社会的孤立感の解消等の支援をしました。</p> <p>主な経費：一般高齢介護予防通所事業委託料 11,147千円 実施自治会等:19カ所 延べ利用者数:1,036人</p> 						
	<p>2. 食の自立支援サービス事業(配食サービス)</p> <p>毎日の食事の確保が困難な高齢者の栄養バランスを整えるとともに、定期的な訪問による安否の確認を行うことで、食の確保と健康維持、安全を確認する等の生活の支援をしました。</p> <p>栄養改善事業(配食サービス) 主な経費：栄養改善事業委託料 1,711千円 実利用者数：19人 配食数：3,956食</p>						
	<p>3. 高齢者水中運動教室</p> <p>膝・腰などの関節に疾患がある方等を対象に、水中で浮力を使って効果的に運動することにより、身体機能を高めバランス能力を向上させ転倒予防を図りました。</p> <p>主な経費：一般介護予防事業 水中運動教室委託料(一般・フォローアップクラス)2,895千円 短期C介護予防・生活支援サービス事業 水中運動教室委託料(通年)1,728千円 参加者数：一般クラス 33人 フォローアップクラス 32人 短期C 26人</p>						
	<p>4. 運動機能向上事業(《元気アップ事業》訪問型サービス事業)</p> <p>健康運動指導士・リハビリテーション職の専門職が、要介護状態及び要支援状態になるおそれのある高齢者の居宅を訪問し、要介護状態等になることを予防します。今年度申請のあった方は介護保険による継続的な訪問リハビリが適していると判断したため利用者はいませんでした。</p> <p>主な経費：講師謝礼金 0千円 利用者数：0人(実施回数:0回)</p>						
	<p>5. 運動機能向上事業(通年型介護予防事業)</p> <p>自主活動に繋げることを条件として希望する1地区へ、字公民館にて、毎週1回運動指導士や介護予防看護師を派遣することにより運動習慣を身につけ、筋力柔軟性の向上を図ることで要介護状態となることを予防するための支援をしました。</p> <p>主な経費：講師謝礼金 240千円 実施場所：山川集落センター・与那覇公民館 参加人数：20人(実施回数:30回)</p>						
	<p>6. 介護予防サポーター養成講座</p> <p>介護予防の重要性についての講話や体操等の実技指導を行うことで、介護予防の担い手として活動する地域の介護予防サポーターを養成しました。</p> <p>主な経費：講師謝礼金 16千円 参加人数:延べ22人(実施回数:4回)</p>						

次ページへつづく →

事業の 実施 内容	<p>7. リハビリテーション専門職派遣事業</p> <p>地域における介護予防の取り組みを機能強化し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指し、高齢者の自立支援に対する取り組みを図りました。</p> <p>主な経費：講師謝礼金 160千円 実施場所：ちむぐる館、各字公民館・集会所(一般高齢介護予防通所事業(地域型)) 実施回数：22回</p> <p>8. その他各種介護予防事業等</p> <p>①一般介護予防事業 高齢者筋力トレーニング教室(通年) 専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。 主な経費：委託料 2,070千円 参加者数：62人</p> <p>②介護予防・生活支援サービス事業 高齢者筋力トレーニング教室(通年) 専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。 主な経費：委託料 3,456千円 参加者数：47人</p> <p>③サーキットマシントレーニング教室 個々の力に合わせて負荷調整が出来る油圧式マシン利用等により、運動機能の維持・向上と運動習慣の定着化を図ります。コロナウイルスの影響で中止となりました。 主な経費：委託料 0千円</p> <p>④操体事業 介護予防を目的とした健康体操の一つとして、操体法の講師を月2回派遣し、高齢者の運動機能の低下防止を図りました。 主な経費：講師謝礼金 120千円 実施場所：ちむぐる館、津嘉山公民館 参加者数：40人(延べ260人)</p> <p>⑤総合事業プラン作成委託料 要支援1.2及び基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントしました。 主な経費：総合事業プラン作成委託料 2,743千円</p>													
	<p>9 その他 介護予防事業をスムーズに行うための経費</p> <table border="0"> <tr> <td>イ、介護予防事業保健師・看護師報酬</td> <td>8,148千円</td> </tr> <tr> <td>ロ、介護予防広報用パンフレット印刷・消耗品等</td> <td>693千円</td> </tr> <tr> <td>ハ、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>ニ、施設使用料</td> <td>4千円</td> </tr> </table>							イ、介護予防事業保健師・看護師報酬	8,148千円	ロ、介護予防広報用パンフレット印刷・消耗品等	693千円	ハ、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	0千円	ニ、施設使用料
イ、介護予防事業保健師・看護師報酬	8,148千円													
ロ、介護予防広報用パンフレット印刷・消耗品等	693千円													
ハ、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	0千円													
ニ、施設使用料	4千円													
事業の 成果	<p>介護保険事業における地域支援事業を活用し、令和3年度は介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス及び一般介護予防事業)を実施し、高齢者(65歳以上)が要介護状態にならないための予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化の防止を図ることができました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できない事業もありました。</p>													
予算の 執行状況	決算額の財源内訳													
	予算額	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	37,878	35,131				35,131	0							



令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	介護保険運営事業	予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	算	款	民生費	03
連絡先	889-4416	科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐるでどもにつくる福祉と健康のまち	目	目	介護保険事業費	09

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	介護保険第1号被保険者(65歳以上)及び第2号被保険者(40歳～64歳)	沖縄県介護保険広域連合へ負担金を支出し、介護保険事業の安定的な運営を図ります。

事業の実施内容	1. 令和3年度沖縄県介護保険広域連合への負担金明細																										
	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会計区分</th> <th>事業項目</th> <th>負担金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">一般会計</td> <td>共通経費</td> <td>40,061,002</td> </tr> <tr> <td>介護認定に関する経費</td> <td>20,817,323</td> </tr> <tr> <td>国・県補助事業に関する経費</td> <td>8,682,678</td> </tr> <tr> <td>令和2年度決算に伴う負担金</td> <td>175,605</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般会計に要する経費小計</td> <td>69,736,608</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特別会計</td> <td>介護給付に要する経費</td> <td>282,676,259</td> </tr> <tr> <td>地域支援事業に係る負担金</td> <td>22,819,496</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特別会計に要する経費小計</td> <td>305,495,755</td> </tr> <tr> <td colspan="2">介護保険広域連合負担金合計</td> <td>375,232,363</td> </tr> </tbody> </table>		会計区分	事業項目	負担金額	一般会計	共通経費	40,061,002	介護認定に関する経費	20,817,323	国・県補助事業に関する経費	8,682,678	令和2年度決算に伴う負担金	175,605	一般会計に要する経費小計		69,736,608	特別会計	介護給付に要する経費	282,676,259	地域支援事業に係る負担金	22,819,496	特別会計に要する経費小計		305,495,755	介護保険広域連合負担金合計	
会計区分	事業項目	負担金額																									
一般会計	共通経費	40,061,002																									
	介護認定に関する経費	20,817,323																									
	国・県補助事業に関する経費	8,682,678																									
	令和2年度決算に伴う負担金	175,605																									
一般会計に要する経費小計		69,736,608																									
特別会計	介護給付に要する経費	282,676,259																									
	地域支援事業に係る負担金	22,819,496																									
特別会計に要する経費小計		305,495,755																									
介護保険広域連合負担金合計		375,232,363																									
2. その他の経費																											
イ、介護保険窓口業務臨時職員賃金 2,010千円																											
ロ、消耗品費、通信運搬費、委託料等 64千円																											
【介護保険の負担割合率】																											
<table border="0"> <tr> <td rowspan="4">全体 (100%)</td> <td rowspan="3">公費 (50%)</td> <td>国の負担金 …………… (25%)</td> <td rowspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>都道府県の負担金 … (12.5%)</td> </tr> <tr> <td>市町村の負担金 …… (12.5%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">保険料 (50%)</td> <td>第1号被保険者 …… (23%) (65歳以上の方)</td> </tr> <tr> <td>第2号被保険者 …… (27%) (40歳～64歳の方)</td> </tr> </table>			全体 (100%)	公費 (50%)	国の負担金 …………… (25%)		都道府県の負担金 … (12.5%)	市町村の負担金 …… (12.5%)	保険料 (50%)	第1号被保険者 …… (23%) (65歳以上の方)	第2号被保険者 …… (27%) (40歳～64歳の方)																
全体 (100%)	公費 (50%)	国の負担金 …………… (25%)																									
		都道府県の負担金 … (12.5%)																									
		市町村の負担金 …… (12.5%)																									
	保険料 (50%)	第1号被保険者 …… (23%) (65歳以上の方)																									
第2号被保険者 …… (27%) (40歳～64歳の方)																											

事業の成果
介護給付・予防給付費に要する費用の一部を負担金として沖縄県介護保険広域連合に支出しています。構成する29市町村の介護保険業務を広域的に運営し、保険料やサービスの適正化等を図っています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	377,329	377,306					377,306

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	高齢者地域支援体制整備・評価事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費 03
連絡先	889-4416		科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	老人福祉費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯	介護保険で要介護に該当しない日常生活に支障のある高齢者世帯にホームヘルパーを派遣し、生活援助や定期的に電話をかけることで心のふれあいや健康状態を確認し、高齢者の自立と社会参加を図ります。

1) 軽度生活援助事業 委託料 : 797千円
 介護保険の認定を受けてない高齢者で、日常生活を営むことに支障がある高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、生活援助を行い、健康の保持及び生活の安定に向けて支援を行いました。

実人数 : 7人 延べ人数 : 66人 派遣時間 : 469時間

【 軽度生活援助サービス事業実績 】

	利用人数	派遣回数	派遣時間
4月	6	30	38.0
5月	6	32	40.0
6月	7	37	46.0
7月	6	36	45.0
8月	6	34	41.0
9月	6	32	40.0
10月	6	32	41.0
11月	5	30	39.0
12月	5	29	38.0
1月	5	28	36.0
2月	4	26	33.0
3月	4	23	32.0
合計	66	369	469.0



2) ふれあいコールサービス事業 委託料 : 354千円
 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し、定期的に電話をかけることで、健康状態や安否の確認及び心のふれあいを図りました。

【 ふれあいコールサービス事業利用者実績(月別) 】

	人数	回数
4月	14	152
5月	14	107
6月	15	127
7月	15	124
8月	15	122
9月	17	142
10月	16	151
11月	16	144
12月	17	143
1月	17	121
2月	16	112
3月	17	139
合計	189	1,584

利用者実人数 : 17人
 利用者延べ人数 : 189人



次ページへつづく →

事

3) 高齢者日常生活用具給付等事業 163千円

高齢者の自立支援や介護予防を促進する事を目的に、日常生活用具の給付を行いました。(利用者世帯の所得に応じて費用負担が異なります。)

用具等	利用者数	金額
歩行支援用具	2人	108千円
入浴補助用具	3人	55千円
腰掛便座	0人	0千円
合計	5人	163千円



業

4) 外出支援サービス事業 7,179千円

公共交通機関を利用することが困難な高齢者について、リフト付き車両により医療機関への送迎を行っています。また歩行に不安があるため、高齢者サロンや一般高齢者介護予防通所事業等への参加が困難な高齢者に対しても、送迎を行いました。

※R3年度は、リフト付車両の老朽化により、新たにリフト付車両を購入しました。

【 外出支援サービス事業利用者等実績(月別) 】

	高齢者支援		サロン活動等	
	人数	回数	人数	日数
4月	12	24	33	24
5月	16	30	0	0
6月	14	26	0	0
7月	12	20	0	0
8月	13	22	0	0
9月	10	16	0	0
10月	8	12	21	5
11月	11	19	69	11
12月	11	21	70	12
1月	7	13	25	7
2月	8	15	0	0
3月	16	32	66	12
合計	138	250	284	71



実

施

内

※実績表(月別)の高齢者支援の項目は高齢者の居宅と医療機関等との間の送迎。サロン活動等は高齢者の居宅と介護予防事業等を提供する場所との間の送迎。

5) 福祉電話設置費 2千円 件数:1件(撤去)



容

事業の成果

高齢者が安心して生活が送れるように、在宅生活を支えるサービスを提供し、自立した生活の支援および社会参加を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,988	8,495					8,495

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

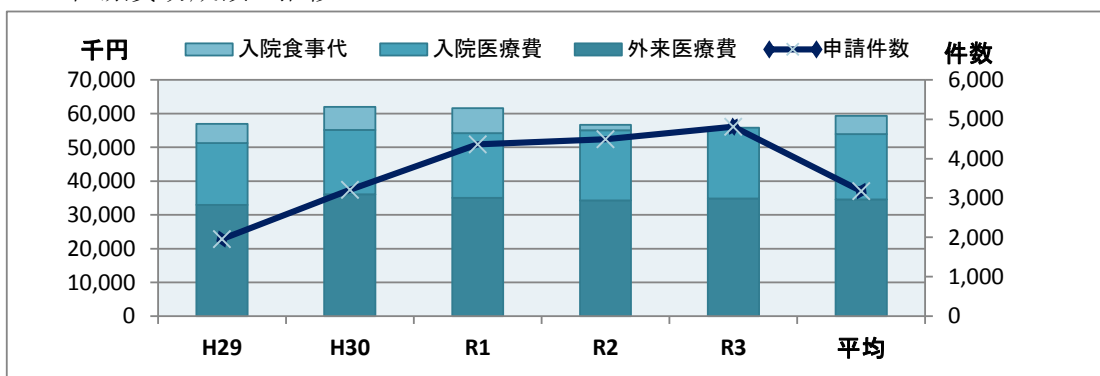
単位:千円

事業名	重度心身障害者医療費助成事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費 03
連絡先	889-4416		科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	心身に重度の障害のある障がい者(児)に対し、医療費の一部を助成します。	医療費の一部を助成することによって保健の向上に寄与し、もって重度心身障がい者(児)の福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の内容	1 印刷製本費 23千円 2 委託料 396千円 3 扶助費 55,811千円 重度心身障がい者(児)医療費助成受給資格者に対し、保険適用診療分の医療費の自己負担額を助成しました。(所得制限があります)
	<受給対象者(障害程度)> ・身体障害者手帳1級または2級 ・療育手帳A1またはA2 ・身体障害者手帳3級かつ療育手帳B1 ・療育手帳B1かつ障害基礎年金1級受給 ・療育手帳B1かつ特別児童扶養手当1級受給

事業の実施内容	◆ 医療費助成の内訳 対象者数・・・717名 申請件数(延べ)・・・4,811件(月平均401件) 助成額(総額)・・・55,787,444円 うち外来医療費・・・34,873,866円 うち入院医療費・・・20,913,578円 ※入院食事代はR2年4月診療分以降廃止
	◆ 医療費助成額の推移



事業内容	(単位:円)						
	項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均
	申請件数	1,957	3,211	4,373	4,489	4,811	3,508
	外来医療費	32,972,900	36,069,642	35,073,081	34,268,997	34,873,866	34,596,155
	入院医療費	18,304,773	19,099,925	19,110,659	20,749,016	20,937,357	19,316,093
	入院食事代	5,668,482	6,851,973	7,445,891	1,678,280	0	5,411,157
合計	56,946,155	62,021,540	61,629,631	56,696,293	55,811,223	59,323,405	

事業の成果
 重度心身障がい者(児)の医療費負担軽減を図り、健康増進及び福祉の向上を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	56,232	56,230	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				27,883			28,347

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	自立支援医療費(更生・育成医療)事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費
連絡先	098-889-4416		科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	【更生医療】18歳以上の身体障害者手帳を有する者 【育成医療】18歳未満の特定の障害を有する児童または、現存する疾患を放置すると将来においてこれらの障害を残すと認められる児童	身体の障害またはその原因となる疾患を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる医療に対して、自己負担額を軽減することにより適切な医療受診及び自立支援を図ります。

事業の概要	<p>◎更生医療とは</p> <p>更生医療は疾病、事故、災害等による身体的損傷が、一般医療によってすでに治癒(欠損治癒や変形治癒等の不完全治癒)した身体障がい者に対し、日常生活能力、社会生活能力または職業能力を回復または向上、もしくは獲得(更生)させることを目的として行うものです。</p> <p>・更生医療給付費 34,676千円 ・更生医療審査事務委託料 67千円</p> <p>更生医療費給付実績 単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>給付件数</th> <th>医療費総額</th> <th>保険負担</th> <th>自己負担</th> <th>公費負担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心 臓</td> <td>17</td> <td>24,830,426</td> <td>22,711,589</td> <td>122,729</td> <td>1,996,108</td> </tr> <tr> <td>じん臓</td> <td>241</td> <td>396,733,718</td> <td>361,664,322</td> <td>4,332,465</td> <td>30,736,931</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22</td> <td>11,547,580</td> <td>9,429,482</td> <td>174,864</td> <td>1,943,234</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>282</td> <td>433,111,724</td> <td>393,805,393</td> <td>4,630,058</td> <td>34,676,273</td> </tr> </tbody> </table> <p>・償還金 6,911千円</p>		給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担	心 臓	17	24,830,426	22,711,589	122,729	1,996,108	じん臓	241	396,733,718	361,664,322	4,332,465	30,736,931	肢体不自由	2	0	0	0	0	その他	22	11,547,580	9,429,482	174,864	1,943,234	合 計	282	433,111,724	393,805,393	4,630,058	34,676,273												
		給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担																																											
心 臓	17	24,830,426	22,711,589	122,729	1,996,108																																												
じん臓	241	396,733,718	361,664,322	4,332,465	30,736,931																																												
肢体不自由	2	0	0	0	0																																												
その他	22	11,547,580	9,429,482	174,864	1,943,234																																												
合 計	282	433,111,724	393,805,393	4,630,058	34,676,273																																												
実施内容	<p>◎育成医療とは</p> <p>育成医療とは身体上の障害を有する児童又は現存する疾患を放置した場合、将来において障害を残すと認められる児童に対し、健全な育成を図ることや生活の能力を得るために必要な医療のことです。</p> <p>・育成医療給付費 2,319千円 ・育成医療審査・判定事務委託料 112千円</p> <p>育成医療費給付実績 単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>給付件数</th> <th>医療費総額</th> <th>保険負担</th> <th>自己負担</th> <th>公費負担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓</td> <td>4</td> <td>2,265,000</td> <td>2,163,023</td> <td>10,407</td> <td>91,570</td> </tr> <tr> <td>じん臓</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>肢体不自由</td> <td>18</td> <td>12,730,140</td> <td>12,023,921</td> <td>123,989</td> <td>582,230</td> </tr> <tr> <td>音声・言語等</td> <td>17</td> <td>5,748,370</td> <td>4,967,813</td> <td>120,035</td> <td>660,522</td> </tr> <tr> <td>聴覚・平衡機能</td> <td>2</td> <td>1,144,370</td> <td>998,935</td> <td>20,000</td> <td>125,435</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> <td>12,759,020</td> <td>11,800,033</td> <td>100,086</td> <td>858,901</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>58</td> <td>34,646,900</td> <td>31,953,725</td> <td>374,517</td> <td>2,318,658</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自立支援医療(更生・育成)の対象施術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓手術(冠動脈バイパス術、ペースメーカー埋込術、ステント留置術など) ・人工透析・腎臓移植手術など ・唇顎口蓋裂にかかる手術や歯科矯正 <p>◎療養介護とは</p> <p>医療を必要とするとともに、常時介護を必要とすると認められた障がい者(児)に対して、病院や施設等で機能訓練、療養上の管理、看護を行う医療費のことです。</p> <p>・療養介護医療費 7,296千円 ・療養介護医療審査事務委託料 5千円</p>		給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担	心臓	4	2,265,000	2,163,023	10,407	91,570	じん臓	0	0	0	0	0	肢体不自由	18	12,730,140	12,023,921	123,989	582,230	音声・言語等	17	5,748,370	4,967,813	120,035	660,522	聴覚・平衡機能	2	1,144,370	998,935	20,000	125,435	その他	17	12,759,020	11,800,033	100,086	858,901	合 計	58	34,646,900	31,953,725	374,517	2,318,658
	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担																																												
心臓	4	2,265,000	2,163,023	10,407	91,570																																												
じん臓	0	0	0	0	0																																												
肢体不自由	18	12,730,140	12,023,921	123,989	582,230																																												
音声・言語等	17	5,748,370	4,967,813	120,035	660,522																																												
聴覚・平衡機能	2	1,144,370	998,935	20,000	125,435																																												
その他	17	12,759,020	11,800,033	100,086	858,901																																												
合 計	58	34,646,900	31,953,725	374,517	2,318,658																																												

事業の成果

更生医療・育成医療、それぞれにおいての必要な医療を、各医療機関及び県判定機関との連携を図りながら実施することで自立支援を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	57,132	51,386	22,145	12,631			16,610

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	市町村地域生活支援事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費 03
連絡先	098-889-4416		科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐるでともにつくる福祉と健康のまち		目	目	心身障害者福祉費	03
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どういう状態にしたいのか)		
	地域で生活する障がい者及び障がい児を対象としています。			障がい者(児)が自立した日常・社会生活を営むことができるよう、南風原町の特性や障がい者(児)のニーズに応じた事業を実施していきます。		
事業の内容	1. 相談支援事業					
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者相談支援 11,310千円 地域の障がい者(児)の福祉に関するいろいろ問題について、障がい者本人や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行う為の支援相談員を配置しました。町社協へ委託して事業を実施しました。(R3延べ相談件数:3,189件) ・基幹相談支援センター 6,404千円 相談支援体制の強化・困難事例や相談支援専門員への助言・相談支援員の人材育成・地域移行及び定着支援事業の促進・関係機関ネットワークの構築・権利擁護及び虐待防止体制の支援・自立支援協議会運営体制の強化を担います。 それらを踏まえ、現在、町社協に委託している障害者相談支援員(CSW)、包括支援センター、児童福祉等相談員(こども課)及び各機関と連携し、核となる総合的な相談支援に取り組みました。 					
	2. 意思疎通支援事業					
	<ul style="list-style-type: none"> ・設置手話通訳者報酬等 2,721千円 ・手話・要約筆記奉仕員派遣謝礼金 382千円 ・手話奉仕員派遣事業委託料 276千円 ・奉仕員傷害保険料 5千円 ・頸肩腕症検診料 23千円 ・手話奉仕員養成事業委託料 6千円 <p>意思疎通を図ることに支障のある聴覚障がい者の支援を目的に、手話通訳者を設置し庁舎内での手話通訳や、要望に応じて通院、学校行事(三者面談、家庭訪問など)への派遣、団体主催の講演会や職場会議などでの手話通訳及び要約筆記(斡旋含む)のコーディネートをっており、令和3年度は228件の通訳依頼がありました。 また、時間外や緊急時への手話通訳派遣対応として沖縄県聴覚障害者協会に委託しました。</p>					
実施内容	3. 子ども発達支援事業					
	<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援心理士報酬等 2,572千円 ・謝礼金(ペアレント・プログラム) 181千円 ・発達支援事業委託費 親子通園事業 2,033千円 巡回訪問支援事業 1,598千円 <p>子どもの発達が気になる段階から保護者や支援者等に対して子の健やかな発達支援を図るための支援を各種事業を通して行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> □発達相談事業 発達が気になる未就学児童の保護者等に対して健診会場や個別での発達相談を行う事業(R3実績 101件) □親子通園事業 親子で通園し、小集団による療育を行う事業(R3実績 8組44回) □巡回支援専門員派遣事業 保育所等への巡回訪問支援を行い保育士等に対して助言等を行う事業(R3実績 11園114人) □ペアレントプログラム 子どもの良いところを見つけ”ほめるコツ”を学び子育てが楽しくなる講座(R3実績 1回6人) 					
内容	4. 自立支援協議会					
	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員謝礼金 60千円 <p>相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関する体制づくりに関し、中核的な役割を果たす「南風原町障がい者自立支援協議会」を設置しています。</p>					

次ページへつづく →

5. 点字・声の広報等発行事業	439千円	ボランティアの方が、毎月町広報と社協だよりをCD等に録音し、視覚障がい者を対象に配布する事業で、町社協に委託しています。令和3年度の利用者は16人でした。					
6. 福祉機器リサイクル事業	136千円	福祉機器の有効利用を図るため、不用になった福祉機器を回収し必要とされる方へ斡旋する事業です。町では社会福祉協議会へ業務を委託しています。令和3年度は、車イス、介護用ベッド、ポータブルトイレ、シャワーチェア、歩行器等において132件の利用がありました。					
7. 地域活動支援センター事業	4,500千円	障がい者の居場所づくりや地域活動の支援のために、創作活動や生産活動を行う基礎的事業を「てるしのワークセンター」に委託しています。					
8. 社会参加促進事業	210千円	障がい者・障がい児が個々の能力や適性に応じて自立した日常生活を営む事ができるようにスポーツ教室を開催しさまざまな運動を行っています。					
9. 日常生活用具給付事業	8,160千円	障がい者(児)の日常生活の便宜をはかるため、日常生活用具の給付をおこなっています。令和3年度は587件の用具給付実績がありました。					
10. 移動支援事業	2,510千円	屋外での移動が困難な障がい者(児)への余暇活動などの社会参加促進のため、外出時の移動の支援を行います。					
11. 日中一時支援事業	1,570千円	障がい者(児)が充実した生活をおくれるよう、また日常的に障がい者(児)を介護している家族の一時的な休息(レスパイト)を図るため、障がい者(児)の日中における活動の場を提供する事業です。					
12. 地域活動支援事業支払委託料	16千円						
13. 障害程度区分認定調査等事業		障がい者の介護の必要度を認定する為の調査及び認定審査会での審査を行いました。□					
		・区分認定調査員報酬(介護福祉士) 2,753千円					
		・主治医意見書作成手数料 324千円					
14. 自動車運転免許取得・改造助成事業費	100千円						
15. 成年後見制度利用支援事業費	426千円						
16. 障害者週間にかかる啓発事業	17千円						
17. 償還金	302千円						
事業の成果	地域生活支援事業で行う各種事業を通じて、障がい者(児)が自立した日常生活・社会生活が営むことができるよう事業推進に取り組みました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	53,283	49,034	7,546	3,636			37,852

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	介護給付・訓練等給付事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費
連絡先	889-4416		科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	○身体に障がいのある方 ○知的障がいのある方 ○精神障がい(発達障害を含む)のある方 ○難病等の方(対象疾患に該当する方) ※すべて児童を含む	障がい児(者)が特性に応じた日常生活等を営むことができるように、個々に即したサービスの支給を行い、福祉の増進を図ります。また、障がいの有無にかかわらず、地域住民が尊重し合い、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与します。

事業内容	1. 自立支援給付費	871,274 千円	
	内訳		
	サービスの種類	決算額(円)	延べ件数
	居宅介護	36,556,611	934
	重度訪問介護	5,856,000	86
	行動援護	925,960	22
	同行援護	25,126,686	303
	療養介護	26,367,570	96
	生活介護	268,219,363	1,330
	短期入所	7,743,574	89
施設入所支援	100,718,811	716	
共同生活援助(GH)	81,446,306	532	
宿泊型自立訓練	811,110	6	
サービスの種類	決算額(円)	延べ件数	
自立訓練(機能訓練)	0	0	
自立訓練(生活訓練)	4,505,905	34	
就労移行支援	14,554,830	116	
就労継続支援(A型)	47,935,349	335	
就労継続支援(B型)	233,006,332	1,882	
就労定着支援	1,299,880	38	
地域移行支援	0	0	
計画相談支援給付費	16,171,310	1,183	
高額障害福祉サービス費	28,651	13	
合計	871,274,248	7,715	

事業内容	2. 障害児通所給付費	440,012 千円	
	内訳		
	サービスの種類	決算額(円)	延べ件数
	児童発達支援	122,029,208	1,146
	放課後等デイサービス	290,481,204	2,529
	障害児相談支援給付費	13,485,760	871
	高額障害児通所給付費	29,336	12
	医療型児童発達支援	1,118,178	25
	保育所等訪問支援	10,845,831	289
	サービスの種類	決算額(円)	延べ件数
肢体不自由児通所医療費	155,185	25	
やむを得ない事由による措置費	1,867,450	36	
合計	440,012,152	4,933	

事業内容	3. その他費用 内訳	17,636 千円
	自立支援給付費事務委託料	1,179,470
	障害児通所給付費事務委託料	846,641
	総合支援ソフト賃貸借料	712,800
	償還金(前年度補助差額分)	14,896,629
合計	17,635,540	

事業内容	4. 補装具給付費(購入・修理)	11,847 千円			
	内訳				
	補装具の種類	購入	修理		
		決算額(円)	延べ件数	決算額(円)	延べ件数
	義肢装具			1,617,089	3
	座位保持装置	2,169,649	19	328,493	6
	盲人安全杖	1,433,463	6	268,524	2
	義眼・眼鏡	39,374	6		
	補聴器	195,300	3		
	補聴器	1,726,429	19	126,852	9
	車椅子	2,667,907	9	278,209	5
	電動車椅子	544,416	1	212,887	3
	座位保持椅子	195,623	2		
	歩行器	18,500	1		
	歩行補助つえ	24,592	2		
重度障害者用意思伝達装置					
合計	9,015,253	68	2,832,054	28	

委託相談支援員(町社協CSW)、計画相談支援員、基幹相談支援員、その他関係機関及び地域等と連携し、障がい者(児)の状況に応じた福祉サービスの支給や補装具給付による支援を行うことで、自立生活の促進を図ることができました。


事業の成果	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		1,374,230	1,340,769	659,945	329,973			350,851

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	南風原町敬老月間啓発事業		予	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費
連絡先	889-3534		科	項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	老人福祉費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内在住の70歳以上高齢者	コロナウイルス感染拡大防止により自粛生活を強いられる高齢者の身体機能低下を改善する。


事業の内容	I. 事業概要 コロナウイルス感染拡大防止のため、2年連続で中止となった敬老会の代替え事業として開催しました。自粛生活により運動不足等で身体機能低下を改善するために自宅参加型のイベントを開催し、参加した方には抽選でお米券や血圧計、体重計等を景品としてプレゼントをしました。															
	①事業内容 高齢者が自身でできる運動をして、広報はえばる9月号又は同イベントチラシに掲載されているスタンプカードに運動した日にサインします。サインが20個たまると応募でき、抽選で健康関連グッズ等景品を贈呈するものです。 ②開催期間:9月1日～10月8日まで ③対象者:令和4年3月末時点で70歳以上で本町に在住の方															
実施内容	II. 実施結果															
	①参加者数 令和4年3月末時点で本町在住70歳以上の方約5,300名の5%で、265名を見込んでいましたが結果は258名で割合は4.9%でした。															
	(単位:名) <table border="1"> <tr><th>男性</th><th>女性</th><th>合計</th></tr> <tr><td>103</td><td>155</td><td>258</td></tr> </table>	男性	女性	合計	103	155	258	(単位:名) <table border="1"> <tr><th>70代</th><th>80代</th><th>90代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>160</td><td>84</td><td>14</td><td>258</td></tr> </table>	70代	80代	90代	合計	160	84	14	258
男性	女性	合計														
103	155	258														
70代	80代	90代	合計													
160	84	14	258													
	主な経費 賞品代 580千円 印刷製本費 132千円 その他 19千円	 <p>令和3年度の贈呈式の様子 →</p>														

事業の成果	今回の企画に対する肯定的な意見・感想は103件あり、「ウォーキングで健康づくりに気をつけています。黄金森公園で安心・安全で運動でき感謝しています。」「今はヤグマイばかりして体も鈍っているので、このようなプロジェクトは刺激になります。」「今後も是非、このような企画を続けて欲しいです。」などの意見が多数見られました。病気をしたことで運動する機会が減った方も、このイベントを機に再チャレンジできたという声も聞かれ、高齢者の運動機能向上に寄与できました。
-------	--

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,083	731					731

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	高齢者慶祝記念品贈呈事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 あゆみ	算	款	民生費	03
連絡先	889-4416		科	項	社会福祉費	01	
目 標	ちむぐくるでもにつくる福祉と健康のまち		目	目	老人福祉費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	トーチ、カジマヤー、新100歳、の高齢者に記念品を支給します。		老人の日の前後に各対象者宅を訪問し長寿を祝います。				
事業の内容	<p>高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献した功績に感謝し、慶祝記念品を贈呈しました。</p> <p>○ 慶祝記念品 1,399千円</p> <p>トーチ(88歳) …… 78人</p> <p>カジマヤー(97歳) …… 28人</p> <p>新・100歳 …… 9人</p>						
							
事業の成果	<p>長年にわたり社会に貢献してきた功績に感謝し、あわせて敬老思想の高揚を図るため、慶祝記念品を贈呈しました。希望者に対しては、感染症予防対策を図りながら、ご自宅等へ訪問し、記念品を贈呈するなど、長寿を祝いました。</p>						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,399	1,399					1,399

